

**第四次西東京市地域福祉活動計画策定のための  
「市民アンケート調査」  
集計結果報告書**

**社会福祉法人 西東京市社会福祉協議会**

## 目 次

---

<b>I. 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1. 調査の目的 .....	1
2. 調査設計 .....	1
3. 報告書の見方 .....	2
<b>II. 調査結果</b> .....	<b>3</b>
1. あなたやあなたのご家族のことについておたずねします。 .....	3
2. 近所づきあいや地域での暮らしについておたずねします。 .....	10
3. 西東京市社会福祉協議会のことについておたずねします。 .....	21
<b>III. 自由記述</b> .....	<b>25</b>
<b>IV. クロス集計一覧</b> .....	<b>35</b>

# I. 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、第四次西東京市地域福祉活動計画を策定するにあたって、西東京市社協会員を中心とした市民の福祉ニーズ、課題意識を調査し、実態を把握するためのアンケート調査を実施しました。

## 2. 調査設計

- 調査地域 西東京市全域
- 調査対象 西東京市社協の会員、協力員、事業利用者・協力者、ボランティア登録者、市民活動団体等
- 調査方法 調査票を郵送により配布、郵送により回収
- 対象者数 1,500名

〈内訳〉	今回調査	【参考】 前回調査 (H20)
・社協会員	675名	561名
・社協協力員	30名	134名
・あいあいサービス利用会員	75人	185人
・あいあいサービス協力会員	15人	94人
・ファミリー・サポート・センターファミリー会員	375人	－
・ファミリー・サポート・センターサポート会員	45人	－
・ふれまち住民懇談会世話人	45人	－
・ほっとネット推進員	60人	－
・ささえあいネットワーク訪問協力員	60人	－
・西東京市市民協働推進センター「ゆめこらぼ」登録団体	30団体	98団体
・ボランティア・市民活動センター登録者、団体	90件	501団体

※【参考】前回調査（H20）は、第二次の計画策定時の実績。その他「チエアーキャブ利用者」「寄付者」「社協運営施設利用者」合計 427 件を対象とした。

- 調査期間 平成 29 年 9 月 19 日～10 月 24 日  
締め切り（10/13）を前に、対象者宛て、「返信確認（お手元に残っている方への確認）」をハガキにて通知する。
- 調査項目 ①基本属性  
②地域福祉課題に関すること  
③西東京市社協に関すること

### ●配布・回収状況

	配布数	回収数	白表 無効票	有効 回収数	有効 回収率
今回調査	1,500	810	0	810	54.0
【参考】前回調査（H20）	2,000	817	1	816	40.8

※【参考】前回調査（H20）は、第二次の計画策定時の実績。

### 3. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様です。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人数）を表しています。

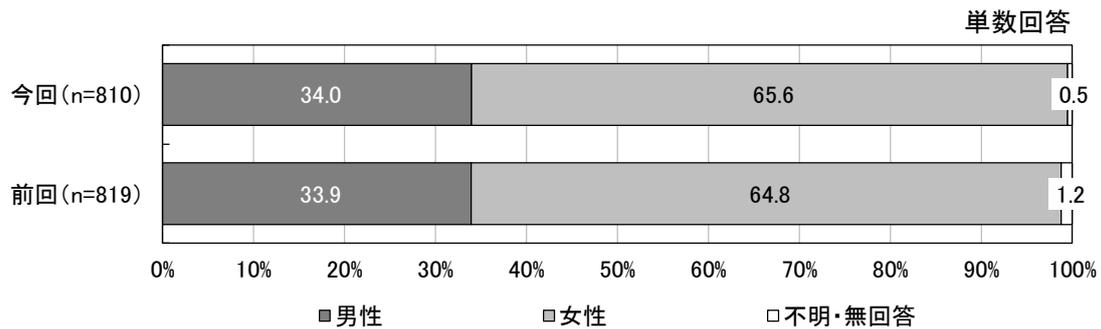
## Ⅱ. 調査結果

### 1. あなたやあなたのご家族のことについておたずねします。

#### 【問 1】 あなたの性別を教えてください。（あてはまるもの1つに○をつけてください）

○性別については、「女性」が65.6%で、「男性」の34.0%を上回っています。

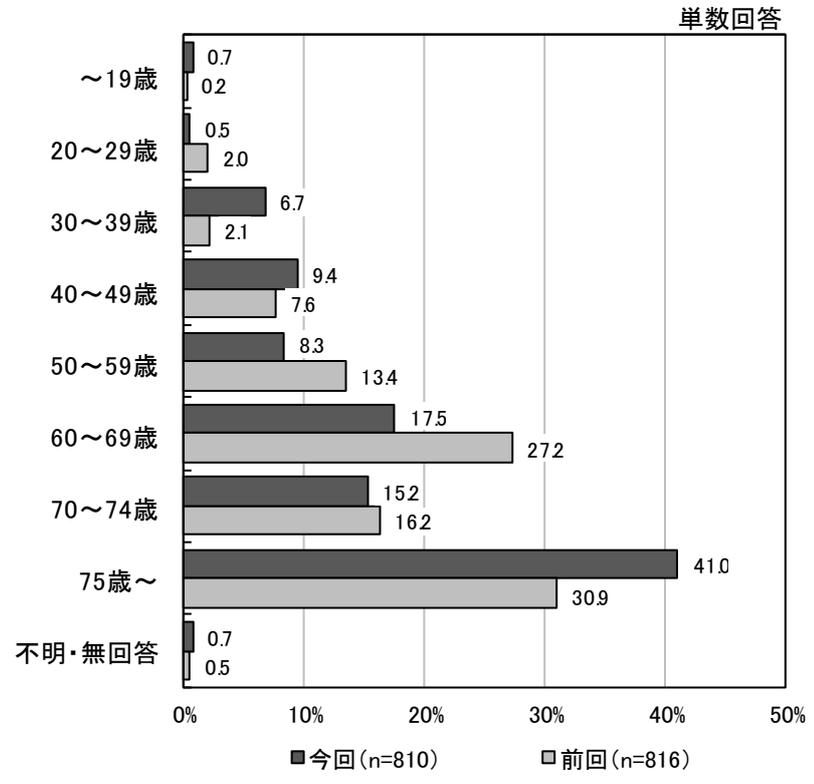
○前回調査（第二次地域福祉活動計画策定時に実施。以下同様とする。）と比較すると、概ね同様の傾向となっています。



○ アンケート対象者（社会福祉協議会の協力者、利用者）自体、女性が多いことからこのような結果となっていることが想定される。

**【問 2】 あなたの年齢を教えてください。（あてはまるもの 1 つに○をつけてください）**

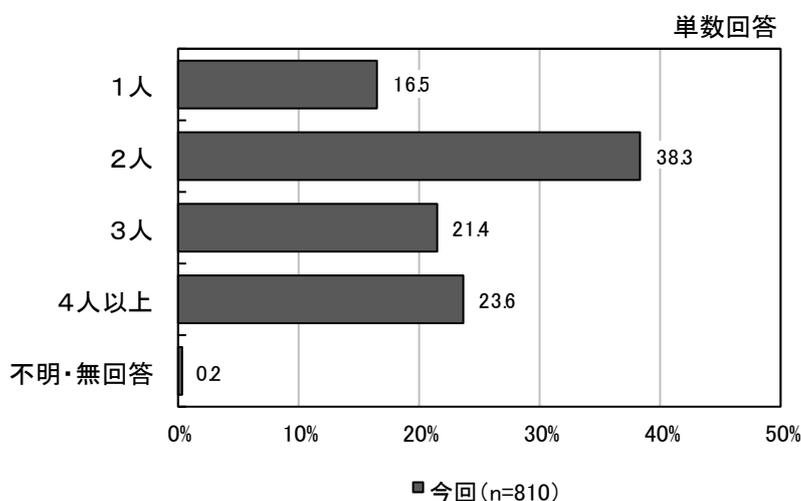
- 「75 歳～」が 41.0%で最も高く、次いで「60～69 歳」が 17.5%、「70～74 歳」が 15.2%となっています。
- 前回調査と比較すると、「75 歳～」で 10.1 ポイント増加し、「60～69 歳」で 9.7 ポイント、「50～59 歳」で 5.1 ポイント減少しています。



- ファミリー・サポート・センターのファミリー会員を調査の対象としたことにより、「30～39 歳」（4.6 ポイント）と「40～49 歳」（1.9 ポイント）で、若干ではあるが、増加しているものと考えられる。
- 社会福祉協議会の協力者、利用者別の回答を用意していないため、詳細はわからないが、社会福祉協議会の協力者、利用者は 60 歳以上の人が多く、特に 75 歳以上の高齢者が多いことがこの結果からわかる。

**【問 3】 あなたを含めた家族数を教えてください。（あてはまるもの 1 つに○をつけてください）**

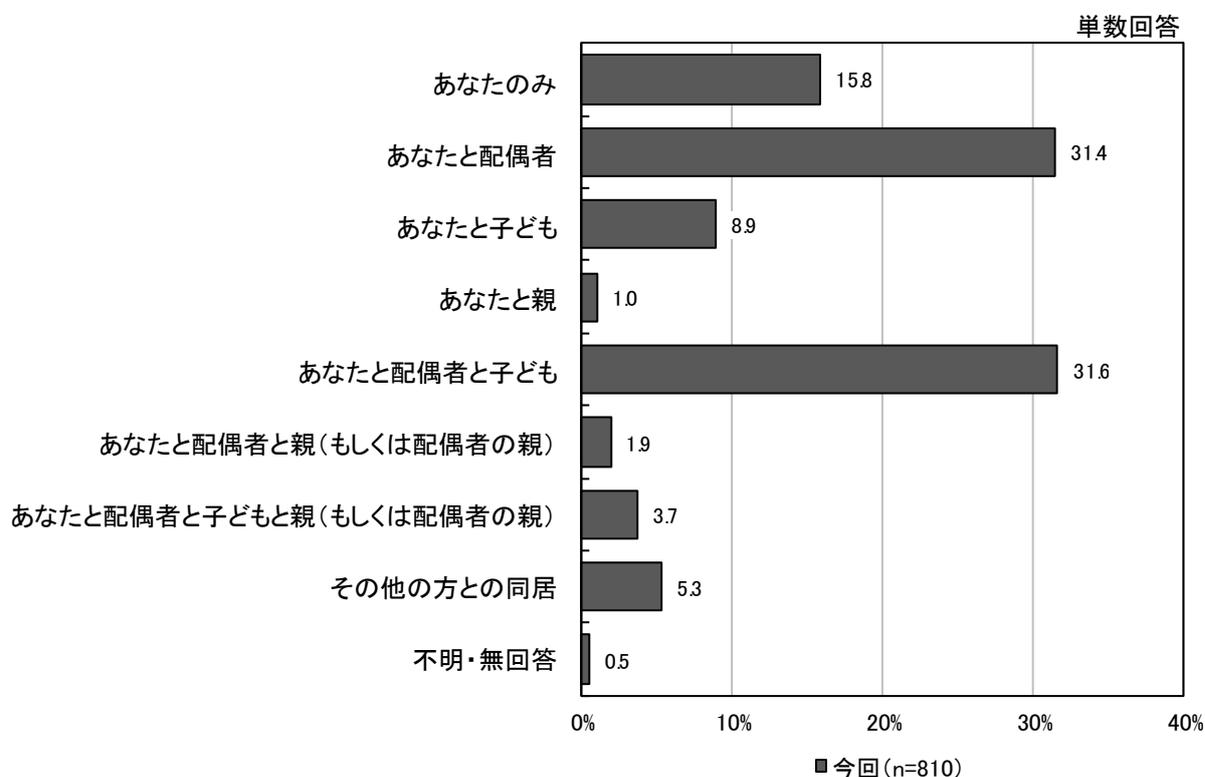
○家族数については、「2人」が 38.3%で最も高く、次いで「4人以上」が 23.6%、「3人」が 21.4%となっています。



○ 2人暮らしが一番多い年代は、70歳～74歳となっており、次いで75歳以上となっている。また、一人暮らしでは75歳以上が一番多く、次いで70歳～74歳が多くなっている。

**【問 4】 あなたの家族構成を教えてください。（あてはまるもの 1 つに○をつけてください）**

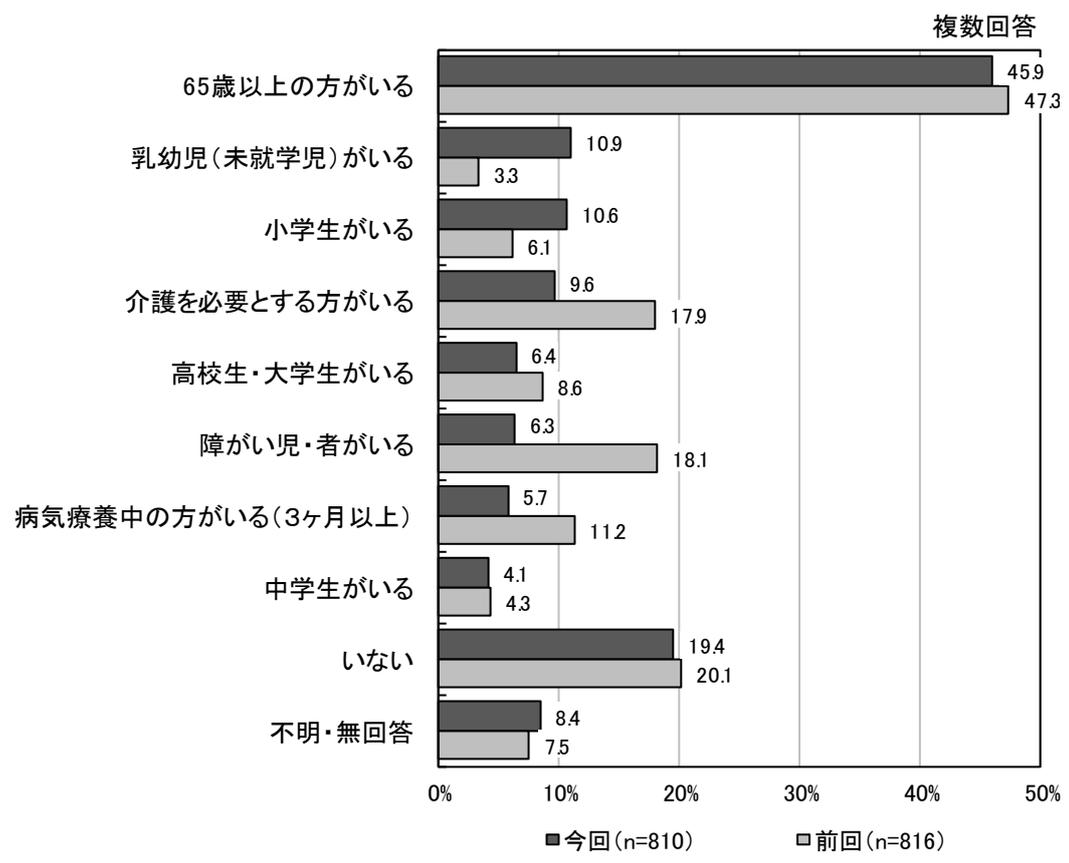
○「あなたと配偶者と子ども」が 31.6%で最も高く、次いで「あなたと配偶者」が 31.4%、「あなたのみ」が 15.8%となっています。



○ 60歳以上では、配偶者との2人暮らしの世帯が一番多くっており、20歳～50歳代では配偶者と子どもの世帯が一番多くとなっている。

**【問 5】 ご家族の中で、次のどれかにあてはまる方（あなた自身も含めて）がいらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）**

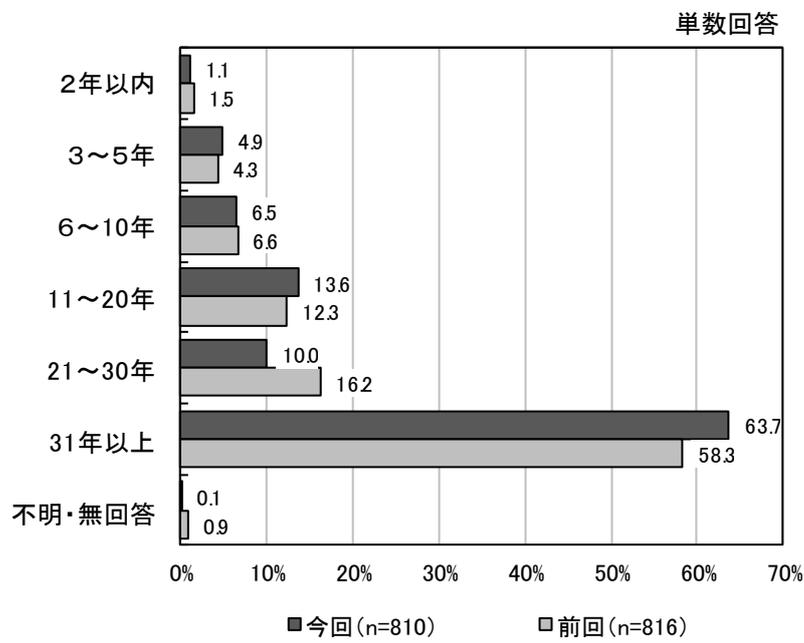
- 「65歳以上の方がいる」が45.9%で最も高く、次いで「いない（表記項目のどれでもない）」が19.4%、「乳幼児（未就学児）がいる」が10.9%となっています。
- 前回調査と比較すると、「乳幼児（未就学児）がいる」で7.6ポイント増加し、「障がい児・者がいる」で11.8ポイント、「介護を必要とする方がいる」で8.3ポイント、「病気療養中の方がいる（3ヶ月以上）」で5.5ポイント減少しています。



- 今回のアンケートでは、調査の対象から、移送サービスの利用者や社協が運営する障がい者施設の利用者を除いていることから、「障がい児・者がいる」の回答ポイントが減少しているものと考えられる。
- 前回調査では介護を必要とする人、障がい児・者のいる世帯の割合が高かったが、今回の調査では、その割合が少なくなっている。これは、前回調査ではチェアキャブ運行事業の利用者、施設利用者を対象としたが、今回は事業廃止のため、調査対象としていないことが影響していると思われる。

**【問 6】 あなたご自身は、西東京市に住むようになってから何年になりますか。（あてはまるもの 1 つに○をつけてください）**

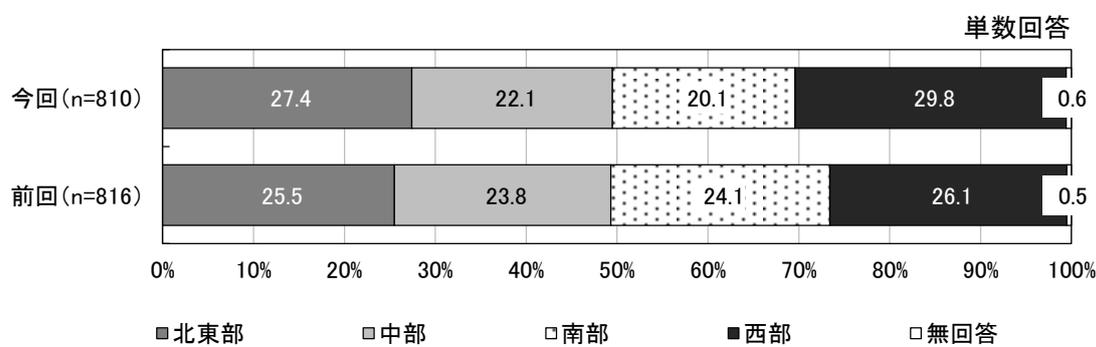
○「31年以上」が63.7%で最も高く、次いで「11～20年」が13.6%、「21～30年」が10%となっています。  
 ○前回調査と比較すると、「31年以上」で5.4ポイント増加し、「21～30年」で6.2ポイント減少しています。



○ 30歳代では居住年数6～10年が一番多く、40歳代では居住年数11～20年が一番多くなっている。このことから若い世代（30歳代、40歳代）は転入者が多いことが想像できる。

**【問 7】 あなたは、現在どの地区にお住まいですか。（あてはまるもの 1 つに○をつけてください）**

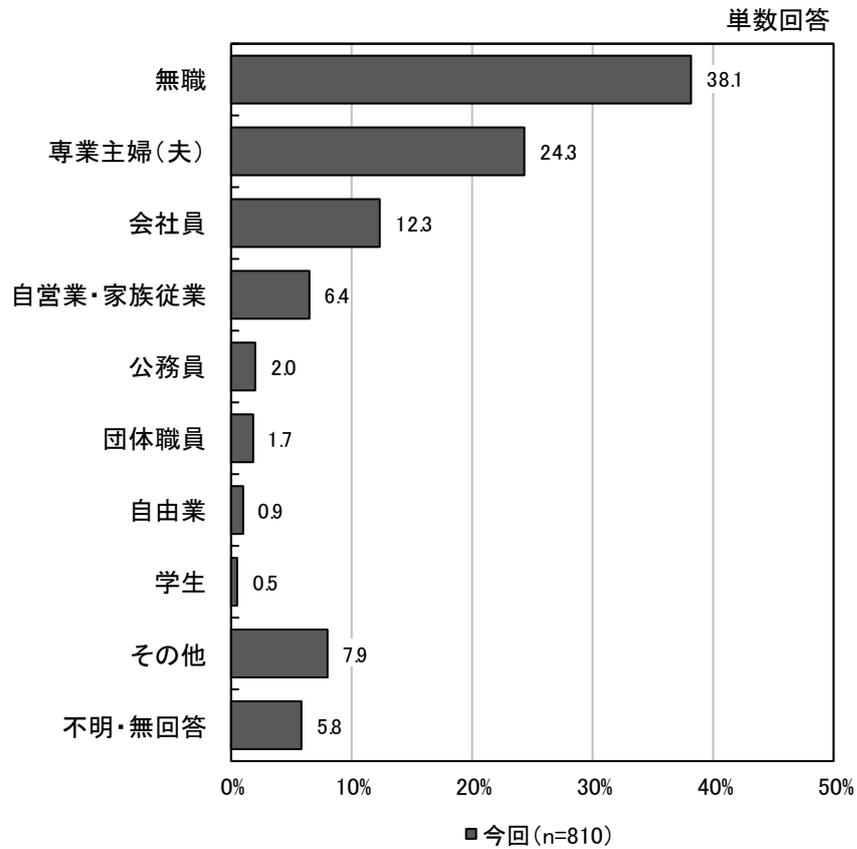
○「西部」が29.8%で最も高く、次いで「北東部」が27.4%、「中部」が22.1%となっています。  
 ○前回調査と比較すると、概ね同様の傾向となっています。



○ 今回の調査対象者は、居住地区を考慮してはいなかったが、結果的に西東京市における4つの生活圏域それぞれに分散する形となった。

**【問 8】 あなたの主たる職業は、次のどれですか。（あてはまるもの 1 つに○をつけてください）**

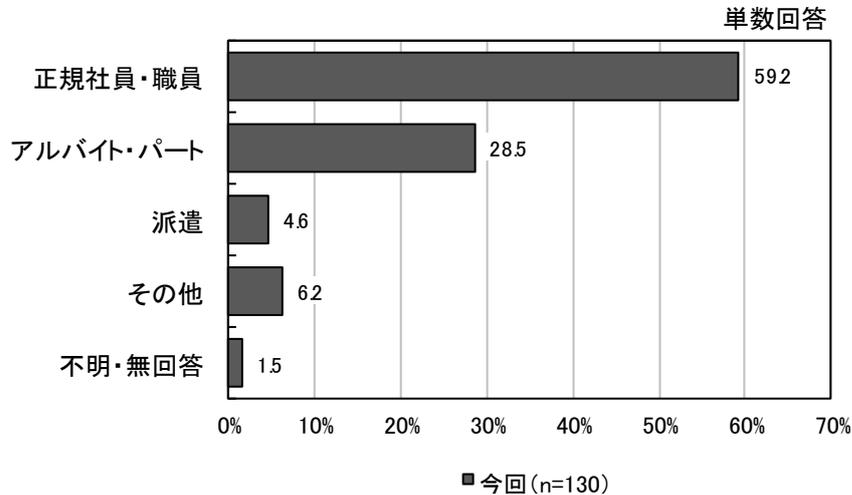
○「無職」が 38.1%で最も高く、次いで「専業主婦（夫）」が 24.3%、「会社員」が 12.3%となっています。



○ 回答者が 60 歳以上の人が多くいたことから、無職の人、また、女性からの回答が多かったことから、専業主婦（夫）が次いで多い結果となったと思われる。

**【問 9】 問 8 で 1, 2, 3 に回答した方について、その雇用の形態について教えてください。  
(あてはまるもの 1 つに○をつけてください)**

○ 1. 会社員、2. 公務員、3. 団体職員と回答した方について、「正規社員・職員」が 59.2%で最も高く、次いで「アルバイト・パート」が 28.5%、「その他（表記項目のどれでもない）」が 6.2%となっています。

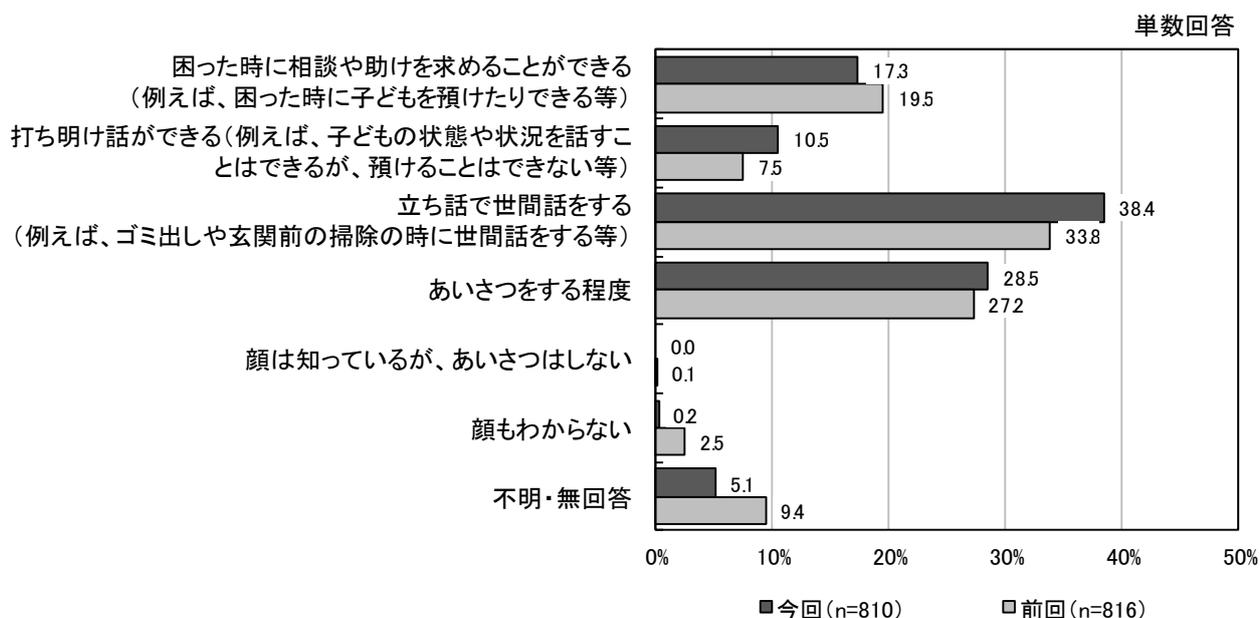


- 70 歳以上で正規社員・職員、アルバイト・パートとして働いている人が 11 人いるとともに、75 歳以上でも 5 人という結果となっている。
- 正規社員・職員として働いているのは、男性においては 76.7%。女性では 51.2%となっている。アルバイト・パートでは、男性が 14%、女性が 36%となっている。
- アルバイト・パート就労では、20 歳代が 25%、30 歳代で 23.3%、40 歳代で 29.3%、50 歳代で 29.6%となっている。
- 派遣就労では、30 歳代で 13.3%、40 歳代で 2.4%、50 歳代で 3.7%となっている。

## 2. 近所づきあいや地域での暮らしについておたずねします。

【問 10】 あなたは普段、ご近所の方との程度のお付き合いをされていますか。（あてはまるもの1つに○をつけてください）

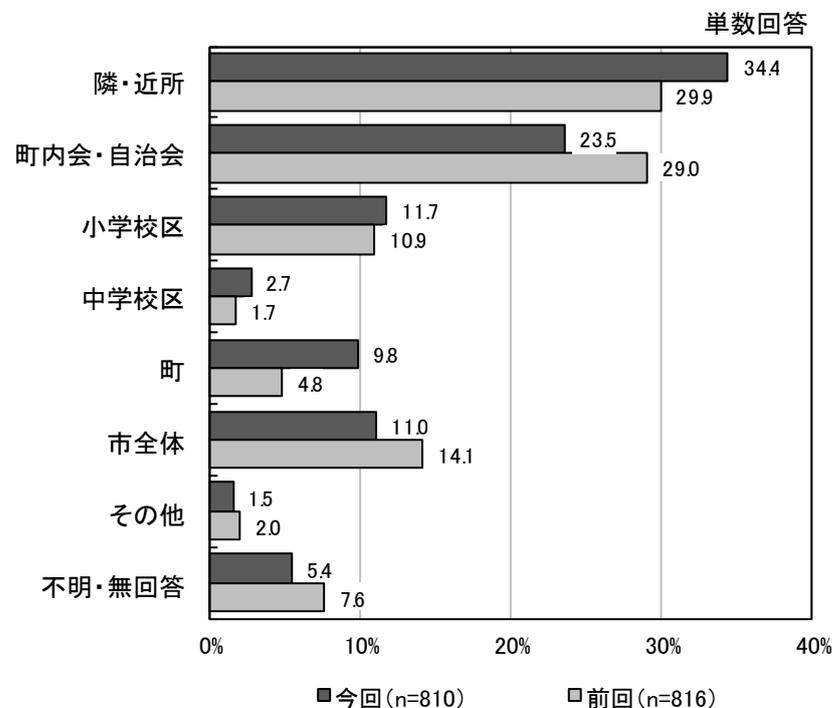
- 「立ち話で世間話をする」が 38.4%で最も高く、次いで「あいさつをする程度」が 28.5%、「困った時に相談や助けを求めることができる」が 17.3%となっています。
- 前回調査と比較すると、概ね同様の傾向となっています。



- 「困った時に相談や助けを求めることができる」が微減しているものの、「打ち明け話ができる」「立ち話で世間話をする」は増加しているほか、「顔は知っているが、あいさつはしない」「誰も分からない」は1%未満となっている。全国的に地域のつながりの希薄が問題視されるなかで、あいさつより親しい付き合いをしている人が増えていることがうかがえる。
- 性別についてみると、女性が男性に比べて「困った時に相談や助けを求めることができる」「打ち明け話ができる」が高く、より親密な付き合いがあることがうかがえる。
- 年代別にみると、40歳代・60歳代で「困った時に相談や助けを求めることができる」が他の年代に比べて高く、地区別にみると、中部・西部で「困った時に相談や助けを求めることができる」が他の地区に比べて高くなっている。
- 近所付き合いの程度について、「打ち明け話（子どもの状況を話す程度）ができる」「立ち話で世間話をする、挨拶をする」が若干増えているのは、ファミリー・サポート・センターのファミリー会員を対象としたことによるものと考えられる。
- 前回調査では、困った時に相談や助けを求めることができると回答した割合が19.5%だったのに対し、今回調査では、17.3%に減少している。立ち話で世間話をする人の割合では前は33.8%だったが、今回は38.4%に増加している。また、あいさつをする程度の人、前は27.2%だったのに対し、今回は28.5%と増加している。
- このことから、近所付き合いの希薄化が多少進んでいることがうかがえる。

**【問 11】あなたが考える「地域」の範囲とは、次のどれですか。（あてはまるもの1つに○をつけてください）**

- 「隣・近所」が 34.4%で最も高く、次いで「町内会・自治会」が 23.5%、「小学校区」が 11.7%となっています。
- 「町内会・自治会」を「地域」ととらえる方は、前回調査と比較すると、5.5ポイント減少しています。



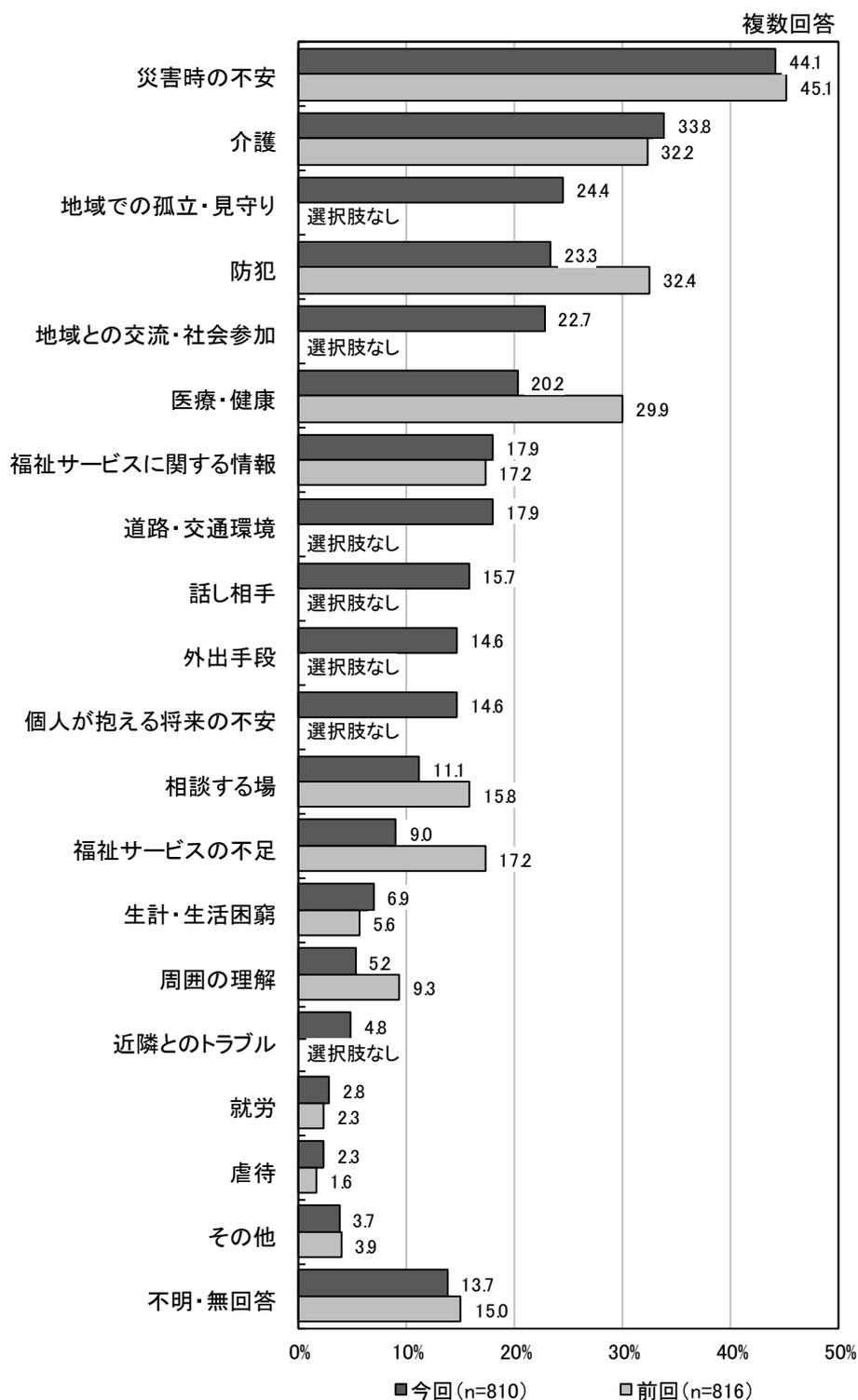
- 市民に最も身近な活動から全市的な活動まで、取り組み内容によって活動の範囲を変えるなど、福祉の支援を必要とする人を重層的に支えることができる地域づくりが重要となる。
- 「町内会・自治会」が減少し、「隣・近所」及び「町」が増加しているほか、地区別についてみると、西部で「町内会・自治会」が他の地区に比べてやや高くなっている。また、自由回答では、町内会・自治会の活性化を望む意見が挙げられており、町内会・自治会の捉える方や活動に地域差があることがうかがえる。
- 性別についてみると、男性が女性に比べて「町内会・自治会」が高く、女性が男性に比べて「小学校区」が高くなっており、男性の方が町内会・自治会活動に関わる機会が多く、女性の方が子ども（小学校）と関わる機会が多いことがうかがえる。
- 年代別にみると、子育て世帯にあたる 40 歳代以下で「小学校区」が他の年代に比べて高い。また、60 歳代以上で「隣・近所」が他の年代に比べて高いほか、居住年数別に見ると、21 年以上で「隣・近所」が他の年数に比べて高く、長く住み続けるにつれて、隣・近所とのつながりが強いことがうかがえる。
- 地域の範囲は、10 歳代では市全体、20 歳代では町、30 歳代、40 歳代では小学校区、60 歳代以上では隣近所と考えており、年齢が高いほど狭い範囲を地域と考えていることがわかり、特徴的である。

【問 12】 あなたがお住まいの地域についておたずねします。あなたがお住まいの地域では、どのような問題があると感じていますか。（それぞれの項目で、あてはまるものすべてに○をつけてください）

### ア. 高齢者に関すること

○「災害時の不安」が 44.1%で最も高く、次いで「介護（養育）」が 33.8%、「地域での孤立・見守り」が 24.4%となっています。

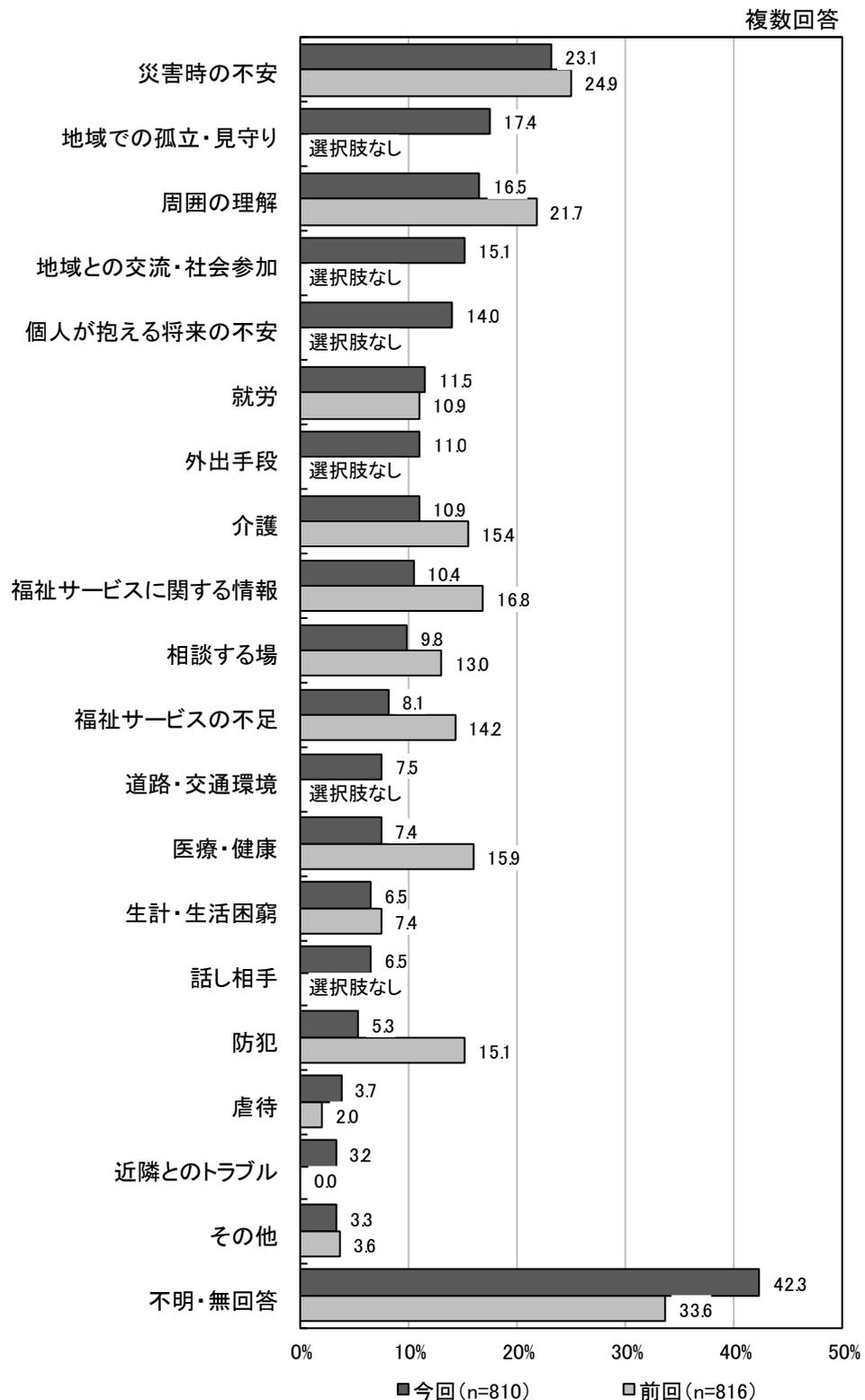
○前回調査と比較すると、「医療・健康」で 9.7 ポイント、「防犯」で 9.1 ポイント、「福祉サービスの不足」で 8.2 ポイント減少しています。



## イ. 障がい児・者に関すること

○「災害時の不安」が 23.1%で最も高く、次いで「地域での孤立・見守り」が 17.4%、「周囲の理解」が 16.5%となっています。

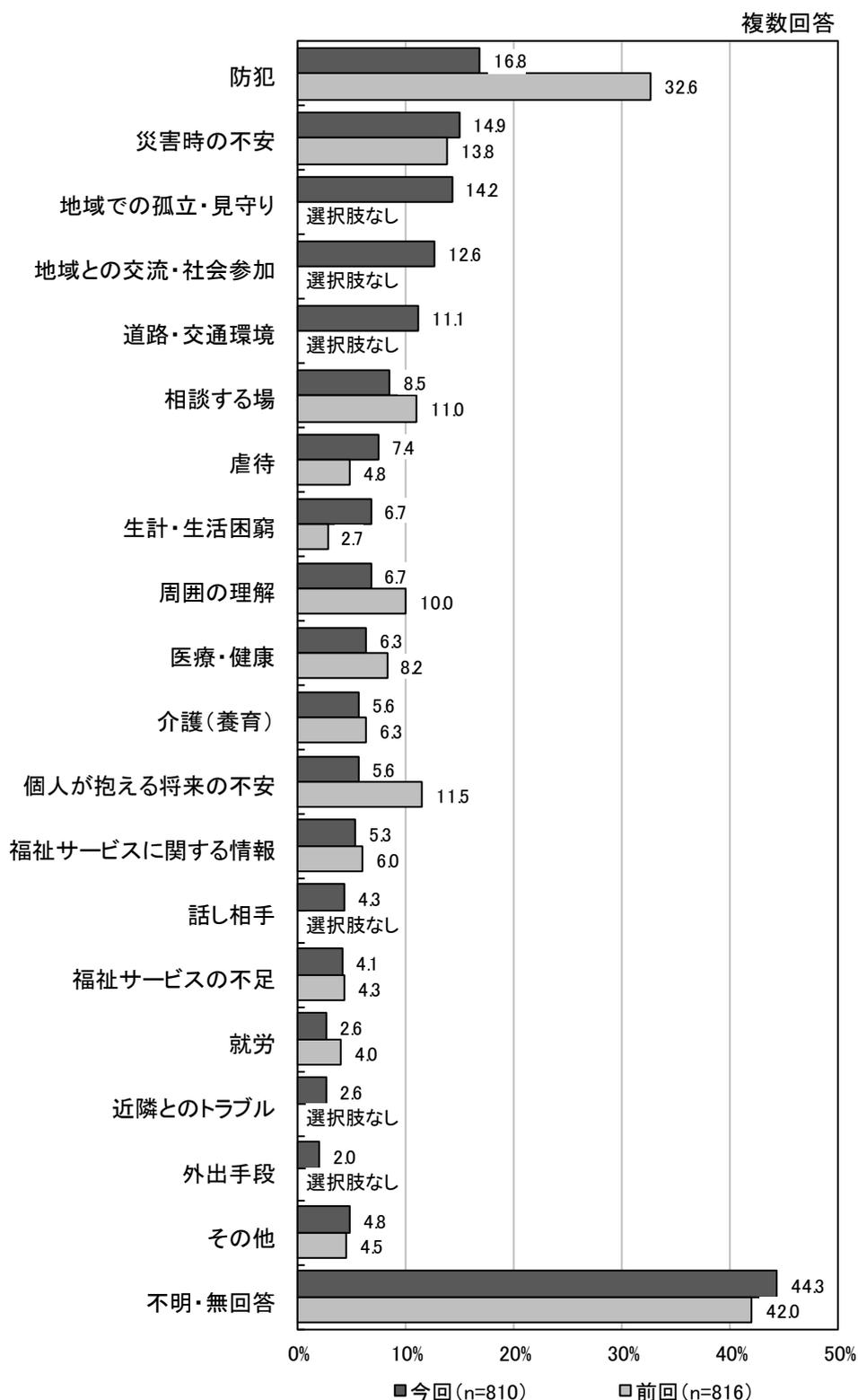
○前回調査と比較すると、「防犯」で 9.8 ポイント、「医療・健康」で 8.5 ポイント、「福祉サービスに関する情報」で 6.4 ポイント、「福祉サービスの不足」で 6.1 ポイント、「周囲の理解」で 5.2 ポイント減少しています。



## ウ. 子どもに関すること

○「防犯」が16.8%で最も高く、次いで「災害時の不安」が14.9%、「地域での孤立・見守り」が14.2%となっています。

○前回調査と比較すると、「防犯」で15.8ポイント、「個人が抱える将来の不安」で5.9ポイント、「周囲の理解」で3.3ポイント、「相談する場」で2.5ポイント、「医療・健康」で1.9ポイント、「就労」で1.4ポイント、「介護（養育）」「福祉サービスに関する情報」で0.7ポイント減少しています。



## エ. ア～ウ以外

○「災害時の不安」が 2.7%で最も高く、次いで「道路・交通環境」が 2.3%、「地域との交流・社会参加」が 2.1%となっています。



## ※分野別の比較（上位7位）

n=810	ア. 高齢者に関すること		イ. 障がい児・者に関すること		ウ. 子どもに関すること	
1位	○災害時の不安	44.1%	○災害時の不安	23.1%	○防犯	16.8%
2位	○介護	33.8%	○地域での孤立・見守り	17.4%	○災害時の不安	14.9%
3位	○地域での孤立・見守り	24.4%	○周囲の理解	16.5%	○地域での孤立・見守り	14.2%
4位	○防犯	23.3%	○地域との交流・社会参加	15.1%	○地域との交流・社会参加	12.6%
5位	○地域との交流・社会参加	22.7%	○個人が抱える将来の不安	14.0%	○道路・交通環境	11.1%
6位	○医療・健康	20.2%	○就労	11.5%	○相談する場	8.5%
7位	○福祉サービスに関する情報 ○道路・交通環境	17.9%	○外出手段	11.0%	○虐待	7.4%

- いずれの項目でも「災害時の不安」「防犯」が高くなっており、対象に捉われず地域に住む全ての人の安心・安全が求められていることがうかがえる。特に、「災害時の不安」については、平成 23 年に発生した東日本大震災が背景にあることがうかがえ、地域の絆を強めていくことが求められている。
- 「地域での孤立・見守り」「地域での交流・社会参加」もいずれも上位にあり、近年、孤立死や子育て家庭の孤立化が社会問題となっているなかで、全ての人が地域とのつながりを持つことの重要性がうかがえる。
- 高齢者に関すること【ア】について、「介護」「医療・健康」「福祉サービスに関する情報」が他の項目に比べて順位が高くなっている。地域包括ケアシステムの構築が進められるなかで、高齢者が地域で生活するための、医療・介護・福祉サービスの充実が求められていることがうかがえる。一方で、若干ではあるが問題とする意識が減少していることは、課題が徐々に解消されていることがうかがえる。
- 障がい児・者に関すること【イ】について、「周囲の理解」「個人が抱える将来の不安」「就労」が他の項目に比べて順位が高くなっている。障害者差別解消法の施行されたほか、施設入所者や入院中の障害者の地域生活への移行が進められるなか、地域の障がいへの理解の浸透や居住・就労等の地域で生活していくための支援が求められていることがうかがえる。
- 子どもに関すること【ウ】について、「道路・交通環境」が他の項目に比べて順位が高くなっており、乳幼児を連れた外出や子どもの登下校などに際する道路・交通環境の充実を求めることがうかがえる。また、自身が困っていること【問 13】においても、道路環境の整備を求める意見が挙げられている。
- 子どもに関すること【ウ】について、「虐待」「生計・生活困窮」が他の項目に比べて順位が高くなっている。全国的に、経済状況の変化に伴い経済的に困窮する家庭の顕在化が背景にあることがうかがえる。また、それらは複数の問題が絡み合っている発生している場合が多く、「虐待」の問題についても、複合的な視点から状況把握及び解決に向けた支援に取り組むことが求められていることがうかがえる。
- 高齢者、障がい児・者、子どもいずれも前回調査の第 1 位が今回調査でも第 1 位となっており、高齢社、障がい児・者では災害時の不安が第 1 位、子どもでは防犯が 1 位となっている。  
しかし、子どもにおける防犯については、前回調査では 32.6%だったのが、今回調査では 16.8%と減少しており、子どもを対象とした防犯対策が充実してきたのではないかと推察できる。また、障がい児・者では前回調査において選択肢になかった地域での孤立・見守りが第 2 位となっており、障がい児・者の孤立を課題としてとらえている人が多いことがわかる。高齢者、子どもに関しても地域での孤立・見守りや、地域との交流・社会参加への回答が上位になっており、地域における関係性の希薄さが反映されていることがうかがえる。

### ●策定委員会における委員の意見

- 居場所として、社会福祉法人の施設を提供し、相談スキルのある人、専門スキルのある人材を提供することができる。
- 防犯に関して、全体的に自分のことととらえていない。意識を上げるために取り組みが必要である。
- 災害時の不安、防犯についての課題が多く挙げられていたので、地域エリアでの防災、防犯訓練イベントに、地元の企業や施設に関わってもらおう。
- 相談窓口がたくさんあっても、その対応については、「関係者が連携しているから、どこでも大丈夫」ということを市民に伝える。

**【問 13】 あなたご自身についておたずねします。あなたご自身が地域で暮らしていくうえで、どのようなことにお困りですか。（下欄へ、一番困っていることを1つお書きください）**

#### ◆主な意見

##### ●地域でのつながりや交流について

- 地域の祭りが無い。
- 近隣でどのような方が住んでいるか分からない。
- 高齢者が多く家からあまり出ない人が多いので、おしゃべりして情報を得ることがない、助けを求めづらい。
- 隣近所と知り合う機会がない。
- 近所とのつながりが薄い。
- 何かおきた時に言葉を交わすこともできないのではないかと。
- 一人暮らしのため、あまり隣近所との交流が少ない。
- 近所の方々と交流（したいと思う時）ができる人間関係を築けたので（人柄がいい）今のところ困らないが、災害時のつながりを持てるかどうか心配である。
- ひきこもっている人の孤立。
- 近隣とのつながりは必ずしも強いとはいえないので、「もしも」のときに「相互の助け合い」ができるか不安。

##### ●町内会・自治会について

- 町内会・子ども会が無いので、近隣の情報が取りにくい。
- 町内会がなく、近隣との交流がない。

##### ●災害時の不安について

- 災害時の不安。
- 災害時にどこへ行けば良いのか分からない。
- 災害時の福祉避難所での支援がどんな程度なのか情報を知りたい。

- 災害時に高齢者の方が自宅から避難所まで移動できるか心配である。
- 自治会がないので、いざ災害がおきた時本当に隣近所のことしか解らず、助け合えるか不安である。今は個人情報保護のため、住所も名前も新しい人達は分からない。

##### ●生活環境について

- 大雨の時に道の半分が冠水してしまう。
- 石神井川の横断時に坂が急に感じる。
- 歩道の整備。（車椅子での移動が難しい。電柱が邪魔している。）
- 道路が狭い。
- 交通量が多く、道幅が狭く、今後子どもの通学で一人歩きが心配。
- 車を手放し、運転免許が使えない不便さがある。
- 交通手段が不便。
- 駐車場が少ない。
- 近隣の空き家問題。
- 近くに買い物のできる店舗が少なく、交通手段を持たない高齢者は不便だと思う。

##### ●福祉サービス・介護について

- 現在、介護保険は使えないが、実際は助けてもらいたいことがある。例えば、家の内外の清掃や補修等を頼めない状況。
- 在宅医療の医師・病院などが少なくて不安に思う。情報も少ないです。
- 福祉サービスの不足。
- 福祉サービスに関する情報が少ない。

### ●相談について

- 生活の中での困りごとなどを気軽に相談できる場がない。

### ●子育て支援や子どもの居場所について

- 子どもの安全な遊び場がない。幼児、低学年、高学年と3つに分けて安全な遊び場があるといい。
- 1～2歳の未就学児向けの集いの場が少ない。
- 安心して子どもが遊べる場所が少ない。
- 子どもを預かってもらう受け皿が少なく、不便である。(特に乳幼児。)

- 急な預かりに対応してもらえない。

- 子どもがのびのび遊べる場所がない。子どもだけで安心して遊べる公園等がほしい。

- 子どもを安心して預けられる人がいない。

### ●その他

- 教育費、公立学校の間人教育力が必要。非常勤のために、入りたい保育園や幼稚園に入れるかの不安。

- アパートや集合住宅のゴミの出し方が悪い。

- 障がい児が普通に普通の子と同じ施設になかなか行けない。

- 地域でのつながりや交流について、近所付き合いの程度【問 10】の結果とは反対に近所とのつながりが薄い人も一定数いることがうかがえる。
- 災害時の不安について、災害発生時の対応が不明確であることや、隣近所の助け合いの関係が構築できていないことがうかがえる。
- 生活環境について、道路環境の改善や公共交通の充実を求められている。特に公共交通の充実については、自家用車を持たない高齢者の移動手段の確保が求められている。
- 福祉サービス・介護について、当事者が受けることができる支援やサービスを把握しきれていないことがうかがえる。
- 子育て支援や子どもの居場所について、遊び場の充実や保育の充実が求められている。

**【問 14】 西東京市が安心して暮らせるまちとなるための「何かよいアイデア」(例えば、こんなサービスが欲しい、こんな取り組みがあると暮らしやすい) などがあれば、ご自由にお書きください。**

### ●地域でのつながりや交流について

- 以前住んでいたところでは自治会があり、子ども会、敬老会、お祭り、例会などがあり、情報交換や話し合う場があった。自治会がないのなら、それなりに横につながることでできる場を提供してほしい。
- 人々が集まるサロンのような場の創出。
- 登下校時の見守りをしてほしい。
- 空き家問題、道路のゴミ、落ち葉の掃除を地域でできたら良い。
- 空き家の積極活用。一方で町内会の活動場所が無い。空き家所有者の抱えている不安を除き、地域の交流拠点として活用できればよい。
- 乳幼児から老人が一緒に集える場所。
- だれでも集まることができる(特にお年寄り、小さな子、障がい者) 場をたくさん作り、つながりをつくっていく。

- 子どもの貧困や高齢者の孤立などの予防に、気軽に寄り合う場がたくさんあると良いと思う。

- 地域の自治会への加入強化と高齢の方達の会費の免除。

- 子どもと年配者が共に集まることができるようなイベントなどあれば、地域の方々と自然に顔見知りになれたり、コミュニケーションを取り合えたりして、様々な意味で暮らしやすくなるのではないかと思う。

- 一人暮らし高齢者の定期的な見回り。

- 高齢者を活用した地域の見守りの充実。

### ●緊急時の対応について

- 障がい児・者のいる家に福祉避難所の詳しい情報や案内を配ってほしい。

- ◎災害時の地域助け合いグループの明確化。幼児、乳児とお年寄りの交流。お互いに助け合う。

## ●福祉サービスについて

- 認知症の人と一緒に生活している家族の手助け、休養がほしい。
- 病児の保育を充実してほしい。
- 高齢者なので近い将来老人ホームに低価格で入れる保険が欲しい。
- 老人ホーム・サービス付き高齢者住宅などについて、個人が情報を得られる公平な機関や資料が欲しい。
- 福祉サービスを受ける時の手続きを簡単にしてほしい。
- 「看護している人」への支援体制があるといいと思います。精神や身体が健康でない人の面倒を見ていると、疲労感が蓄積して、社会的にも孤立しがちです。「話を聞く」「支援制度を紹介する」といったサービスがあると心強い。

## ●情報提供について

- 色々な助け合いがあることが十分に周知されていないように感じている。
- 広報だけでなく、色々な形でのイベント等情報発信。
- 地域交流を促進するイベントを知らせる媒体。
- 社会福祉協議会としての活動 PR（内容、他）を、大型店等、人が多く集まる所で開催した方が良い。

## ●相談について

- なんでも尋ねることが可能な窓口、電話窓口があると良い。
- 気楽に相談できる人がほしい。
- 相談窓口の一本化。
- 一人暮らし高齢者が気楽に安心して相談できる場所がほしい。
- 小学校区に 1 つほどの割合で、「子ども食堂」「放課後カフェ」のような居場所ができるといいと思う。世代を問わず、集うことができれば、何か困ったときに相談機関につながりやすい。
- 障がいのある子、人、乳幼児の親子、病気のある人、生きづらさを抱えている人が気楽にふと立ち寄れる、集える場所、カウンセリングマインドを持つ常駐者がいる。

## ●生活環境について

- 道路の側道の整備。
- 高齢者や障がい者が安心して歩けるように、駐輪禁止地域の不法駐輪車を即日撤去してほしい。

- バリアフリーのトイレ設置。

- 病院のために利用できるタクシー回数券（割引で利用する）。

- ◎駅から離れた地域には“店”がないので、週数回の車などによる「出店」があれば。近所の足腰の弱くなった高齢者の方たちとの話によく出ることです。

## ●防犯について

- 道路にライトを増やし、夜間も安全に歩きやすくしてほしい。
- 交番を増やす。
- ストップ「振り込め詐欺」のための地域レベルの見守り活動。

## ●その他

- 外国人が暮らしやすい地域。
- スポーツ施設をもっと増やし、高齢者が気軽に出掛けて、水泳や運動をもっと身近に感じれば、健康寿命にも良い結果が期待できると思う。
- ふれまちなどの助け合い活動をしているが、対応の窓口の一体化などシステム的な整理が必要。
- 既にかなりのことを実施しているので、それらをより良くしていくことで良いアイデアも生まれてくる。
- 子ども（小中学生）が活発に遊べる場所がほしい。
- シルバー人材の拡充。自治体の様々な取り組み、元気な老人を活用し、そのための予算を確保。
- 空き家が増えていることが心配。空き家や空き店舗を借り受けて地域活動に活用することをもっと広げてほしい。地域の様々な人や団体がいっしょに使うだけでなく、たとえば、ひとり親家庭に安く貸すとか、住宅やお店を運営できる団体に貸すとか、フードバンクを行政と協力して行うとか。
- 住民目線での思考をどう受け入れるか。簡単に声を拾い上げる方法が必要と考える。
- 高齢者の居場所はあるが、子どもの居場所を充実できたらと思う。公民館や児童館で食事提供や学習支援（無料で）の場を市の取り組みでボランティアを巻きこんであちらこちらで開かれるとよい。
- 農地を障がいのある人の働く場にする。後継者不足の農家の方達にとっても農地を手放すことなく活用できると思う。
- 市内の小中学校全てに障がい児を受け入れる態勢を整えてほしい。

- 地域でのつながりや交流について、自治会の活性化や地域の組織の連携の強化、活動の活性化と、それらから生まれるつながりを見守り活動につなげていくことが求められている。
- 緊急時の対応について、情報発信の充実や助け合いの関係性の充実が求められている。
- 福祉サービスについて、手続きの簡素化や介助者・介護者の心身の負担軽減が求められている。
- 情報提供について、多様な機会を通じた情報発信が求められている。
- 相談について、気楽に何でも相談でき窓口や関係づくりが求められている。
- 生活環境について、道路環境の整備、移動手手段の確保等が求められている。
- 防犯について、安全な道路環境の整備や地域レベルの見守り活動が求められている。

#### ●策定委員会における委員の意見

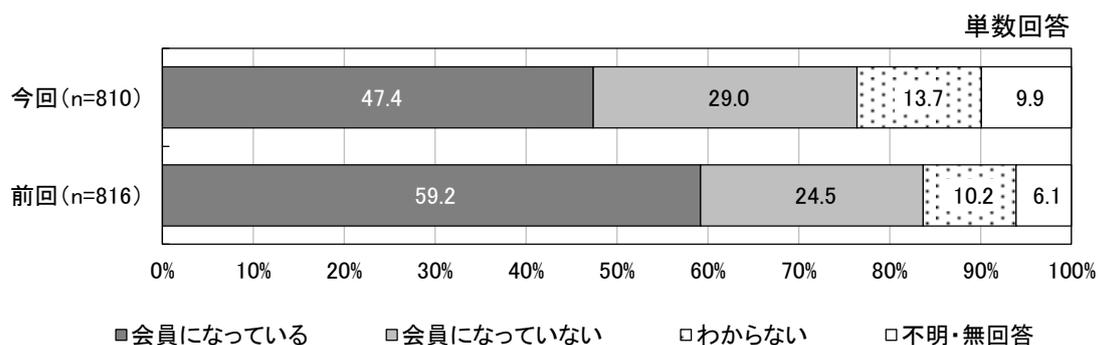
- 「居場所の必要」「地域のつながり希薄」の回答が多いことから、これまで社協として取り組んできているが、まだまだ十分でないのか、別な取り組みが必要なのかを検討する必要がある。
- 活動を広げていく段階ではなく、まだまだ「居場所」活動等の認知不足を解消すべきと感じた。
- 「居場所」が求められている一方で、参加者が少ないことから、「居場所」の必要性の確信が持てない。
- ただ場所があればいいということではなく、「私」にとっての居心地のいい場所が求められている。
- 福祉分野で区分けするのではなく、多世代で集まれるサロンが必要である。
- 「居場所」については、ハード面だけではなく、そこで寄り添ってくれる人材が重要である。
- 無理やりではなく、参加を促すような声かけをする人材がいるとよい。

### 3. 西東京市社会福祉協議会のことについておたずねします。

【問 15】 あなたは、西東京市社会福祉協議会の会員になっていますか。（あてはまるもの 1 つに○をつけてください）

○「会員になっている」が 47.4%で最も高く、次いで「会員になっていない」が 29.0%、「わからない」が 13.7%となっています。

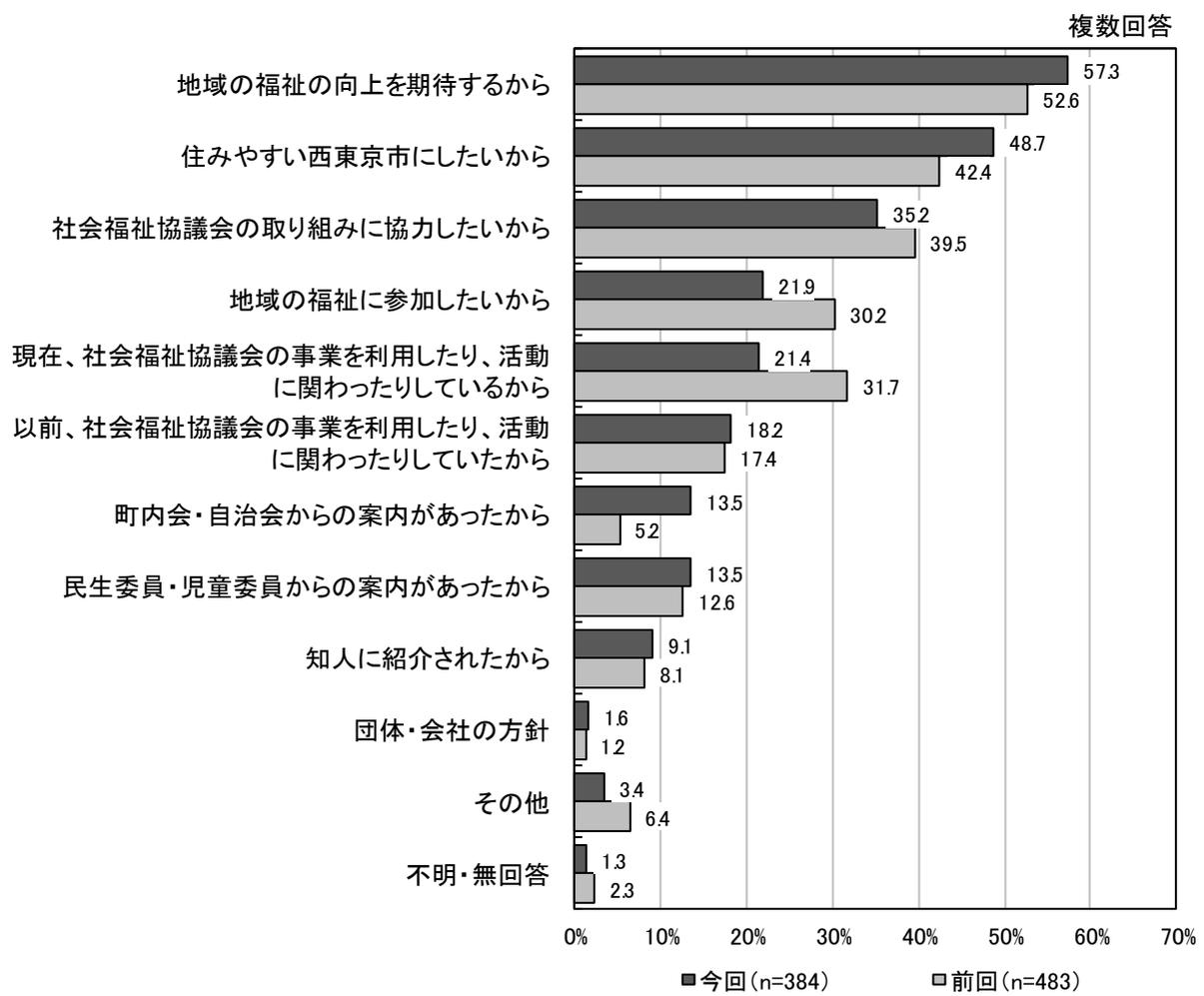
○前回調査と比較すると、「会員になっている」で 11.8 ポイント減少しています。



- 「会員になっている」が約 5 割となっており、特に 50 歳代以上が他の年代に比べて高くなっている。
- 会員加入を条件としている「移送サービス事業」や「あいあいサービス」の利用者数が減っていることにより、総体的に減となっている。
- 会員になっているが前回調査より減少している。会員数全体の減少を反映しているとともに、今回調査ではチェアキャブ運行事業、施設利用者を対象としていないことが要因と思われる。

**【問 16】 問 15 で「1. 会員になっている」に○をつけた方は、お答えください。西東京市社会福祉協議会に会費や寄付金（物品）を納めていただいているのは、どのようなお気持ちからですか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）**

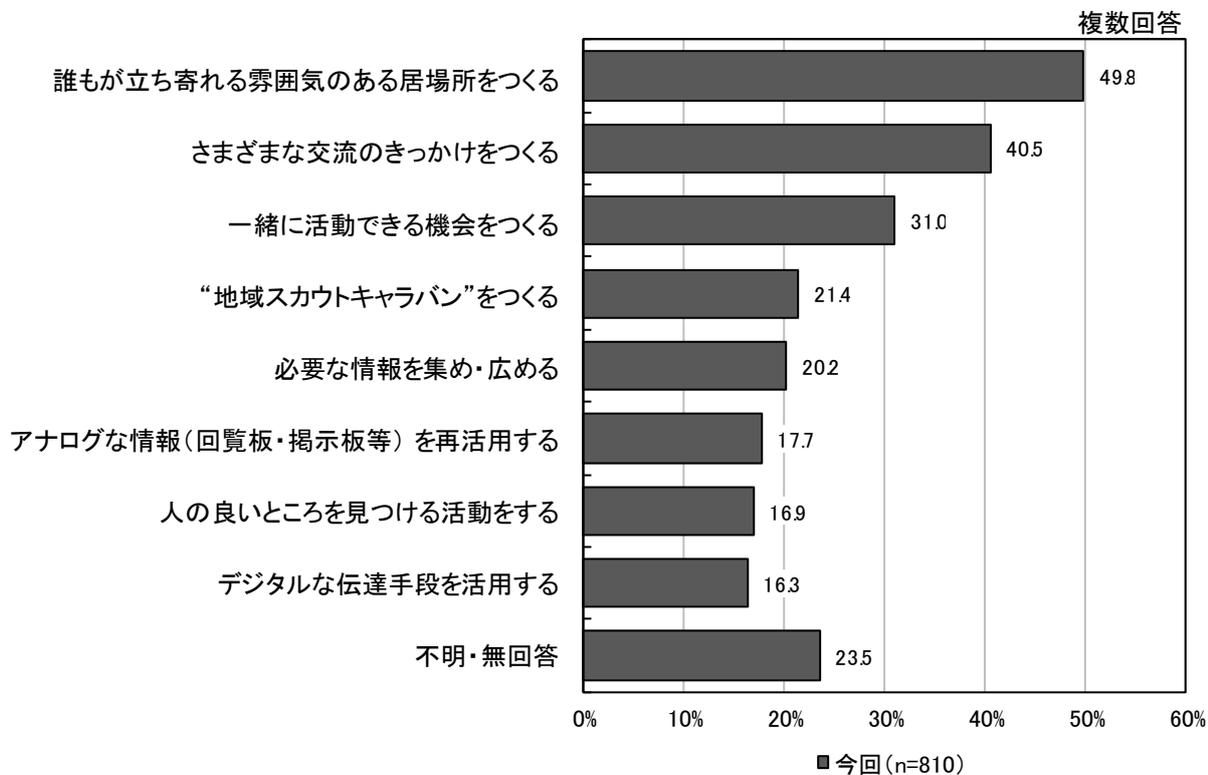
- 「地域の福祉の向上を期待するから」が 57.3%で最も高く、次いで「住みやすい西東京市にしたいから」が 48.7%、「社会福祉協議会の取り組みに協力したいから」が 35.2%となっています。
- 前回調査と比較すると、「町内会・自治会からの案内があったから」で 8.3 ポイント、「住みやすい西東京市にしたいから」で 6.3 ポイント、「地域の福祉の向上を期待するから」で 4.7 ポイント増加し、「現在、社会福祉協議会の事業を利用したり、活動に関わったりしているから」で 10.3 ポイント、「地域の福祉に参加したいから」で 8.3 ポイント減少しています。



- 「地域の福祉の向上を期待するから」「住みやすい西東京市にしたいから」が上位かつ前回調査から増加しており、西東京市社協への地域福祉に関する取り組みの期待が高まっているほか、会員となることを通じて、地域福祉の推進や社協事業への参加の意思表示していただくものとして捉えられていることがうかがえる。
- 男性では「地域の福祉の向上を期待するから」「町内会・自治会からの案内があったから」が、女性では「以前、社会福祉協議会の事業を利用したり、活動に関わったりしていたから」「現在、社会福祉協議会の事業を利用したり、活動に関わったりしているから」が高くなっており、女性は、普段の社会福祉協議会との関わりから会員になっている割合が高いことがうかがえる。
- 会員になっている理由は、前回調査の結果とほぼ同様となっている。しかし、活動への積極的な参加を理由とする人が減少している。

**【問 17】 第三次西東京市地域福祉活動計画で定めた以下の活動について、あなたが地域で生活するうえで、必要な取り組みだと思いませんか。（上位3つに○をつけてください）**

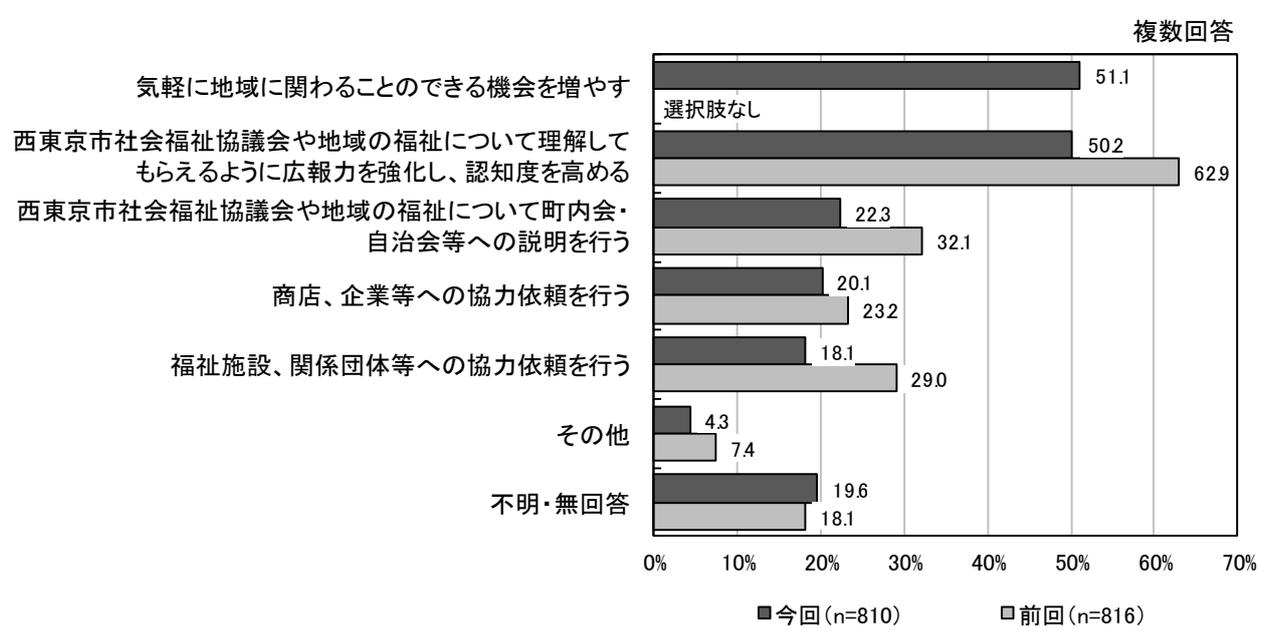
○「誰もが立ち寄れる雰囲気のある居場所をつくる」が 49.8%で最も高く、次いで「さまざまな交流のきっかけをつくる」が 40.5%、「一緒に活動できる機会をつくる」が 31.0%となっています。



- 「誰もが立ち寄れる雰囲気のある居場所をつくる」「さまざまな交流のきっかけをつくる」「一緒に活動できる機会をつくる」が上位となっている。また、自身が困っている課題【問 13】として、世代間交流が少ないことが意見として挙げられているほか、より活発な地域福祉活動を推進するために取り組むべきこと【問 18】について、「気軽に地域に関わることでできる機会を増やす」が最も高く、住民の地域活動の活性化に向け、若い世代を含め、より多くの人に参加しやすく、より地域に密着し地域の実情に応じた交流機会の創出が求められている。
- 居場所や交流、活動できる機会をつくるなどの回答が上位を占めており、問 1 2 での地域での孤立・見守りや地域との交流・社会参加の回答が多かった結果が、反映されていると推察する。しかし、10歳代20歳代では、居場所の必要性は下位となっている。また、情報関係の取り組みの必要性は下位となっている。

**【問 18】 西東京市社会福祉協議会が、より活発な地域福祉活動を推進するために、今後、どのようにしたら一人でも多くの方のご協力をいただけると思われますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）**

- 「気軽に地域に関わることのできる機会を増やす」が 51.1%で最も高く、次いで「西東京市社会福祉協議会や地域の福祉について理解してもらえるように広報力を強化し、認知度を高める」が50.2%、「西東京市社会福祉協議会や地域の福祉について町内会・自治会等への説明を行う」が 22.3%となっています。
- 前回調査と比較すると、「西東京市社会福祉協議会や地域の福祉について理解してもらえるように広報力を強化し、認知度を高める」で 12.7ポイント、「福祉施設、関係団体等への協力依頼を行う」で 10.9ポイント、「西東京市社会福祉協議会や地域の福祉について町内会・自治会等への説明を行う」で 9.8ポイント減少しています。



- 「西東京市社会福祉協議会や地域の福祉について理解してもらえるように広報力を強化し、認知度を高める」「西東京市社会福祉協議会や地域の福祉について町内会・自治会等への説明を行う」は、前回調査から減少しているものの第 2 位・第 3 位となっており、特に 50 歳代以上で高くなっている。また、自由回答においても、社協の活動の周知を求める意見が挙げられており、地域福祉の浸透に向け、西東京市社協及びその事業、地域の活動などを効果的に周知していくことが求められている。
- 「商店、企業等への協力依頼を行う」が、性別では女性が、年代別では 50 歳代が、地区別では南部が高くなっており、地域に根付く商店・企業も巻き込みながら地域福祉活動を活性化していくことも重要となっている。
- 地域に関われる機会を増やすと社会福祉協議会の広報力の強化の回答が拮抗している。  
意識をせずに自然と地域に関わっていけるような取り組みのいろいろなアイデアを考え実施し、そのことを社会福祉協議会の広報媒体を活用して周知していくことが求められている。  
市民に協力を求めるための広報力の強化を図ることを求めている人が多い。

## Ⅲ. 自由記述

---

### ●近所付き合い、自治会活動、地域のつながりについて

- ◎地域で自治会のない所が増えている。そのような所を日頃から社協の方や民生委員の方々が住民の方と顔なじみとなり、つながりを持つことをしていれば社協の会員増や共同募金のお願いもしやすくなると思う。
- 昔のように、お茶飲み、おかずのやり取り、買い物の手伝いなど気軽にできるといいです。
- ◎月 1、2 度、家を開放して近所の老いた人達のおしゃべりの場にしたいと思います。私自身もですが、おしゃべりすることは良いことなので気軽に出掛けられる場を提供できたらと思います。
- 老人会の活動や趣味の会で（市内）出かける機会もあり健康が何よりの宝です。
- 最近休耕地の宅地化がどんどん進んでおり地域の雰囲気も様変わりしてきているが、新たに開発された地域や市への転入者が多いのか、地域全体への溶け込みが今一つではないかと思う。特に若い世代の多い大型マンションなどはその中のコミュニティの範囲にとどまっている気がする。
- 隣、近所との交流を持つこと。
- ◎市内に色々なサロンやそのほかの集会の場所があるが、参加する人が限られており、新たに入る人が少ない。これは催す側の情報力の不足かと思います。市報等で色々情報は発信してくれていますが、これがあまり生かされていないように感じます。
- 今後年齢がどんどん増す人口は確実で、一人暮らしも増えると思うので寂しい生活を送る人を何とかしたく、一つの提案としてできるだけ近い所で月に 1～2 回の食事会（有料か無料）を計画して実行すれば、色々な話し相手や別の企画も生まれてくるのではと思います。
- 今、町内会、自治会が減っています。私が住んでいる所もそういう状況です。私個人としては、ご近所のつながりが重要と感じています。特にいつ起こるか分からない災害等に対して、お一人住まいの方、子育ての中の若いお母さん等、つながっていくと良いなあと思っています。
- 新しく西東京市に移転して来た人々は、古くいる地元の人にあいさつ（おはよう、おやすみ）くらいを、道で会った時位は必要と思う。
- 様々な人々のおかげで多くの交流場所ができていると思います。しかし、その場所へ足を運ぶことのできない人、また行きたくない、関わりたくない人達がいると思います。そんな人達も、近所での井戸端会議へ参加して、楽しく交流している方もいらっしゃいます。この 3～5 人の井戸端会議がとても重要だと思います。交流場所やいろいろ活動している人は、多くの方は時間に余裕がありません。井戸端会議は午前中です。朝 9 時～10 時～といった活動に参加するためには、井戸端会議にゆっくり参加できないのです。会議的なものは午後にして、活動者は、午前中ゆっくり話をする機会を増やしてはいかがでしょうか。井戸端会議に参加するのは、多くは女性です。でも女性が情報をつかむことによって家族へも認知されていくのではないのでしょうか。
- ◎男性を参加させることです。女性は積極的に参加してくるようになりました。この人達を続けて来るように、今までいる人達が話をかけて出席しやすくすること。
- 元気な高齢者の活用を。健康課によるしゃきしゃき体操推進リーダー養成講座の募集要領の資格が 65 歳以下となっている。現在活躍しているリーダーのほとんどが 66 歳以上である。66 歳以上は必要ないのかとリーダーはがっかりしている。
- 西東京市は、マンションや団地が多く隣近所の人との関係性が薄いと思われる。もっと町内会等の活動を活発にして、人とのつながりを深めた方がいいと思う。
- 今は個人・家族の中でネットを使っているいろいろな情報も集められるし、女性も外に出て働き、なかなか近所の付き合い、地域のイベントへの参加なども少ない様に感じます。一人ひとりが安全に気をつけ、なるべく外に出て交流を深めていくことが大切なのだと思います。いろんな場でいろいろな人とつながれば、地域交流の輪も広がっていくのではないのでしょうか。
- 自治会や地域活動をしている人達を市が大切にしてほしい。

- ◎地域活動は、ところどころあるが、広告の仕方が目立ってなく地味である。子どもや高齢者、障がい者にイベント用の絵を描いてもらって貼り出すなどみんなの目にとまる広告をしてほしい。
- 町内会等による地域でのお祭り等があったらいいと思います。
- 高齢者や子どもたち、働いている人や専業主婦など、普段つながらない人たちが自然に顔を合わせ互いのことを知れるきっかけがあればと思います。自治会はおじさんが多く、フルタイムで働いている私たちにはちょっと難しく、なかなか貢献できないですが例えば地域をしぼった防災訓練をきっかけにして知り合えたりしたらよいです。
- ◎住人の意識改革が必要ですが、協力＝力を借りる、力を誰かのためにという心が育ってない、不足なために自治会、町内会が育たないのかとも考えます。交わるということの大切さ、そこで自身をも育てるのだ！という発想が活かされない。

## ●地域での助け合いについて

- ◎妻がフレイル状態で軽い「うつ」となったので、あいあいサービスや、ふれあい碧、シルバー人材センターの協力を得て、ハウスキーピングを維持している。子どもも協力しているが各々自分の家庭を持ち限界がある。「遠い親戚より近くの他人（ご近所）」ということわざを実感している。
- 家で孤立しているお年寄りなどいない様に、常に地域の状態を把握していくことが大切であると思う。
- 孤立していそうな高齢者等に声をかけたり、対応することが常に必要ではないか。特に民生委員には期待しています。
- 笑顔で感謝を忘れずお互いに困ったことがあったらできる範囲で協力し共助して行きたい。我が自治会は、ご多間にもれず高齢者が多く、車いすなどでも外に安心して出られる様に道幅の拡張をしてほしいが、自分の家の土地がこれ以上狭くなるのもこまる実情があり、素直に道幅を広げるのも難しいと思う。
- ◎皆さんとこんなことをしてほしいという願いはお持ちかと思いますが、お手伝いならできるだけリーダーやめんどくさいことはいやだと思う方々が多い。
- ◎古くから住んでいて町の事情がわかっている人と、転居してきて（学校に通う子どももいない中高年）孤立しがち（まわりとのコンタクトの少ない）な人との交流について考慮してほしい。自治会も町内会もないのでは、世話人ともいべき人が存在せず、何がどうなっていてどうすればよいのかもわからない。

## ●世代間交流等について

- ◎ますます高齢化が進む内で、幼稚園、小学校等で高齢者とふれ合う機会をつくってほしい。（運動会、音楽の時間の見学、参加等々）お互い気張らず、気楽に。
- ◎核家族化が進んでいる時代ですので、地域のお年寄り子どもたちが交流できるようなイベントが増えれば良いと思います。
- ◎乳幼児から老人まで気軽に立ち寄ってランチなどできるカフェ。「食」と居場所の提供と、異世代交流、ここからファミサポへの理解や、サポーターが確保できるのでは。いきなり講習会はハードルが高い。いろいろ声をかけているが、二の足を踏む人が多い。
- ◎定年退職後の方々（ご夫妻共々）、もっと家の中にとじこもるだけでなく、外に出るキッカケが多種多様になると、いいと思います。視野が狭くなると、ご本人、周りの人間、いずれもトラブルの火種になりかねません。
- ◎子どもから高齢者まで、様々な人が協働できる場所が地域に 1 つでもあると良いのではないかと思います。たとえば、ただ集まって、という場所だけでなく、できることをできる人ができる時に行う。高齢者が覚えている昔あそびを今の子どもが教わったり、カフェに来た人が学生の宿題を見たり教えたり。そのやりとりを通して顔見知りになり、カフェ以外の場所でも地域がつながって行きやすくなりませんか。
- ◎ホームヘルパーとして約 10 年、保育士として働き始めたところですが、それぞれが別の世界で生活していることがよくわかりました。高齢者も、子どもたちもお互いの存在を必要としています。例えば、空地を公園にする、公園までできなくてもベンチを置く、休憩する場をつくることで会話（コミュニケーション）が生まれます。バス停にベンチを設置＝ゆずり合いが生まれたり、会話にもつながる。高齢者施設での子育て相談、保育施設での

介護相談、児童館、学童で高齢者が仕事をしたり、遊び相手をする姿、高齢者施設に子どもたちが出入りする姿。誰もが、どんな場所にも居場所があって会話したり助け合い、見守れる地域であってほしいです。

- ◎図書館、体育館、公民館、健康センター等のいわゆる市民へのサービス施設は一応整っていると思いますが、それぞれが独立した立地、建物なので、目的を持ってわざわざ出向く場所という認識でいます。お年寄りや働きながら子育てをしている人、時間がないサラリーマン等は体の負担や時間の負担がない方が様々なサービスを利用しやすいと思います。お年寄りや障がい者、子ども、働くお父さん、お母さん、独身者、みんなが集まってくるようなサービス施設のあり方を検討してもらいたいです。
- ◎多くの地域で集まりを持っているようですが、個人的には、何の連絡もなく、お食事会やレクリエーション等、遠くで聞こえるだけである。予告をするのはむずかしいと思うが、消極的な人もできるような方法はないものか。
- 私が近所の方と知り合いになったキッカケは、ウォーキングでした。何かひとつの同じ目的を持っていると、自然に話しかけるようになると思います。やはり集まる場所が必要だと思いますので、いろいろなサークル活動があるといいです。

## ●相談・アウトリーチについて

- ◎困りごと・相談などに対応してほしい。
- 自己責任論が、困っている人が声を挙げにくくしているのではないか。社会福祉を充実させる必要があるが、そのためには、困っている人が困っていることを要求としてどんどん出していける社会にしないといけない。困っている人が孤立している現状を、地域の人つながりで解消していけたらと思っている。様々な年代の人がつながるようなしくみ、居場所がつかれないかと思っている。
- 困っている人が「困っている」と言える仕組みをつくる。そのためには、まず市や社協が“敷居”を低くする。一方で、困っている人を支援できる（なにがしかのお手伝いをする）人が気楽・気軽に「それじゃ」と乗り出せる手段、場をつくる。
- ◎西東京市の弱者支援体制は、人材も良いし（能力、人柄）、応対・相談にも魅力がこもっていて素晴らしいと思います。この街に住んで良かったと、心から思えます。各種相談窓口があることを、色々な人に知ってもらう工夫をすることが大事だと思います。
- ◎貧困の度合（特に極度の）市の職員が捜し出すのは難しいと思います。そのことは市内で活動している民生委員でも情報がなければ見つけられません。困っている方を見つける方法のひとつですが、生活に不可欠の電気・ガス・水道の会社から、市の方へ、電気・ガス・水道を（利用料が支払えないために）止められている家庭の資料を出してもらおう…ということができたら、その家庭へ、例えば民生委員または市の方から状態を確認に行けば、生活保護につなげたり、フードバンクとつないたり、最低の状況から抜け出すきっかけになると思います。

## ●団体・組織等との連携について

- 例えば学校のPTA役員も現役の父母だけでなく、地域が関わると、開かれた学校と、住みやすい町の拠点になると思います。介護施設の家族会も同様。

## ●ボランティアについて

- ◎今が元気なのでボランティアで他人様のお世話もできるのでそれを1時間1ポイントとして貯めておき、5年後位自分が困ったらその分をお願いしたい。しっかりした団体でないと成り立たない、今だったら買い物目薬を入れてあげる。病院、買い物の付き添い、話し相手等々、小さな犬の散歩、留守の間の植物の水まき、ネコの餌やり、ポストへ投函、図書館の返却、行政への相談、ちょっとした片付け、小さい雑草の草取り、その他いくつもある。お金でなく気持ちでできればやる方もやってもらう方も気分が良い。自分がやってもらうより、やってあげられる方が幸せです。
- ◎ボランティアのつどいが2月と10月（来場する予定）開催されますが、半年の間に参加される団体が少なくなっている様子で心配しています。市報で公民館活動の紹介が多々ありますが、各公民館で活動されている団体に定期的にボランティアのつどいの担当者の方や、実行委員の方が顔を出して、参加を呼びかけて、ボランティア活動を広めて行く取り組み等どうでしょうか。来てくれる人を待っているだけでは、活動を広めて行くのは難しいと思います。また、学校に協力してもらって、子ども達の参加によって親や地域の人達に理解しても

らえることもあるのではないのでしょうか。せっかくステージに上って活躍している方々に今後も頑張ってもらいたいです。

- ◎上意下達のような組織でなく、市民みんなの支え合いであるということの理解を深める機会を多くつくる。私はその手伝いがしたいと思っているが、出て行く場所が分からない。活動ボランティアを求めてほしい。
- 西東京市は他市に比べ地域活動が活発と受け止めています。（前市とくらべ）地域住民がボランティアとしてさまざまな分野で活動しています。しかし、経験から感じるのは、縦・横の関係がつながっていると云い切れません。

## ●保健・医療・福祉サービスについて

- 在宅医療の（増やす）体制をつくり安心して過ごせるようにお願いします。
- 一人暮らしの方々もいらっしゃいます。提案ですが…まだお元気で一人暮らしの方に2階建くらいアパート・マンションの様な施設をつくったらどうか。生活は一人一人個人が守られ、そこには常時管理人さんがいて、時々…医療の訪問看護師が見回り診療をしてくれる。私が一人になって元気だったら、年金で入れて生活できる場所があったら、と思います。
- 今現在は健康であるため、あまり福祉のお世話になることがなく、今まで生活してきました。しかし、80歳になりこれからが福祉のお世話になることが多くなってくると思います。必要な時に福祉のサービスが受けられることを希望します。その時に難しい事務的な手続きが必要になるのを心配しています。手続きの簡素化を希望します。
- ◎高齢で在宅福祉サービス（あいあいサービス）を受けています。国でサービスは限られていますので、大変助けていただき感謝です。
- ◎ほとんど介護保険の方でやる様に指示されている様（あるいは個々で）に思えます。（医者の特例、買物、床屋、等々）。集团的集まりに参加できない人（介護者を含めて）のケアを考えてほしい。介護階級の変更や身障者の認定は、病状が安定するまで医師の診断書は出さないと市の方で言われました。
- 認知症予防対策の推進。講座、教室を増やしてほしい。（体操教室、唄う教室…）。
- 老人ホームの充実について。実母の介護を数年間在宅で実施。都内の老人ホームを申し込んでも全く入居できず高齢化社会の際、老人ホーム等の充実を切望する。
- 家族が居るご家庭はサービスが必要ないと思いますが、身体の状態が悪い方や単身の方は、何かとお願いがあると思います。

## ●健康づくりについて

- 元気な老人が、介護活動に気軽に参加できるシステムを早急に確立すべきです。
- 下保谷福祉会館にて週2回筋トレに通うこと7年。足腰をきたえて健康に暮らしております。願わくば年々常連の方が多くなって参りましたので器具を使う順番が大変です。
- ◎高齢になれば、出掛けるにも足腰が痛くて行けなく自宅にこもりがちになる傾向があります。気軽に集まることのできる場所を提供するのであれば、足となる車を随時出す等の用意が必要かと思う。また、ただ、お茶、おしゃべり等ばかりでなく楽しいイベントに連れ出しするのも必要かと思えます。まず身体と心を健康にし、「健康寿命」を促進し、地域でお互いに見守り合える自分になることが大切だと思えます。

## ●子育て支援について

- 保育園を増やし、待機児童がいないようにしていただくと、より働きやすいです。また、病児保育所も増えるといいです。
- 「子どもの貧困」自分の住んでいる市で生活が苦しいため食事がとれない子どもたちが苦しんだり、親御さんたちが働けど働けどでは、また親の身勝手子どもたちが悲しんでいるのであればこんなにつらく思うことはありません。虐待も同様。そこで子ども達と食事をしたり遊べる人はボランティアで子どもたちを育てていく「子どもたちを心の貧困」からも守ってあげることができたらと思う。

- 困りごとができた時、ここに相談すれば大丈夫！という場所があれば安心だと思うので、何も困りごとがない今は実感がなくて分からない。しかし、子どもの貧困等、気になることはある。西東京市ではどうなのか。食事を摂れない子がいるのだろうか。栄養不足は精神不安定を生む。性格がゆがむこともあるかも知れない。健康やかに成長し、生きてほしい。それが社会の宝になると思っている。
- ◎子どもたちへの無料の学習サポート・居場所拠点を小学校区にひとつはほしい。無理なら保谷庁舎、田無庁舎内とか。
- 育児ノイローゼが心配される。小さな子どもと母親など、家にこもりがちな人達が、地域とつながりを持ち、気軽に足を運べる場所づくり。「子育て支援の保育園開放園も少ないです。」とのお声を頂きました。近所の高齢者の方も「ふれあいセンターに出向くのも気が引けるわ。」と一歩踏み出せない様子でした。
- 保育園や公園などを増やしてほしい。（特に保谷駅周辺）
- 私は現在ファミリーサポートセンターにお世話になっています。利用するまでの登録、面談が必要なことはいいないな運用のため理解できますが、様々な「必要な準備」、妊婦さん、乳幼児を引きつれての説明会への参加は、誰もが気軽にこの制度を利用するためには何かしらの改善が望ましいのではないかと考えています。とても素晴らしい制度で、私自身とても助けられています。いつか自分も地域に恩返しできたら良いと思っております。利用を希望している方々は多い中で、登録までの準備に対してもう少し、利用・参加したいと思わせるようにハードルを下げると、もっと広がりひいては私のように“助けてもらったからいつか返す”という思いにつながるのではないかと考えます。
- まずは子ども達の過ごしやすい環境づくり。他者を認める教育。子どもは、親や家族だけでなく地域でも育てる。
- 保育園に入りやすくして子育て支援を手厚くしてほしい。
- 保育園の環境の差がありすぎる。狭い一室にいる子ども達が気の毒になる。
- 保育園新設をアピールしているそうですが、すぐに定員を超えますし待機児童は全く改善されないまま。その割には一時保育は抽選制で必要な時に利用できず意味がないのも同然です。また、子どもとともに参加ができるような保育付講座や体操教室等も小規模で公民館のみにとどまっている。
- 女性の活躍バックアップについて。働きたい女性や、就活中、または資格取得のため学校に通いたい女性のために、優先順位などの分け隔てをなくすよう保育園を増やしてほしい。少子高齢化の中、女性の社会進出をバックアップできず、将来を担う子どもたちの健全な養育ができなければ、日本の未来は暗くなると思います。
- 東伏見公園に日陰をつくってほしい。子ども用の遊具もふやしてほしいです。子ども向けの施設を増やしたり、子育て世帯への優遇をして子どもの多い市にしてほしいです。実際、待機児童も少ないと思うのですが。無料、もしくは安い料金にて遊べる室内遊具場などがあると嬉しいです。

## ●障がい者支援について

- ◎心身障がい児の親の負担。経験として、主に知的障がい児の親の将来についての親の心の負担を解決する具体的なサービスがあればよいと思う。カウンセラーの配置など。
- ◎障がい者のグループホームが近くにあるが、まわりに理解されているか交流があるのかよくわからない。ヘルプカードを下げている方を時々みかけるが、1人で歩いていて大丈夫な方なのか、それともサポートをたのめないのか、自立を目指しているのか。

## ●情報提供、周知啓発について

- ◎私の接触している70歳～85歳男女、十数人の中で、介護保険の、老人ホームの、包括支援の、サ高住の、特養ホーム等々理解度が少ない。幸い、今現在必要としないから知らないでいいのかも。いい制度、仕組み、サービスをいかに知らせるべきかが、一番大切と感じる。
- ◎活動をもっともっと、いろんな方々が知るように、映画会やコンサートなど、子どもには演劇会など、日頃外出できていない人にむけ開催して、どんなときにどんなしくみや支援があるかをPRしてはいいかがでしょうか。まちに

「楽しみ」が少ない気がします。老若男女の集える居場所をもっとつくて下さい。人が集えば何か生まれてくると思います。

- ◎西東京市に住みたいくなるような、活動は、もう少しわかりやすく、発信してほしい。市報に、別用紙で、添付するなど。

## ●防災について

- ◎介護が必要な人が一人で家にいる時に大きな災害が起きた時はどうしたら良いのでしょうか。どこにどの様な人が助けを求めているのか、近所に住んでいても全くわからないということも多いと思います。その点が解決されたらよいと思います。
- 一番の心配ごとは災害時のことです。東京防災（防災ブック・防災マップ）をいただきましたが、もっと簡単で自分の避難場所等すぐわかる、壁に貼れるポスター的なものの方が良いと思います。

## ●防犯・地域の安全について

- 西東京市内の防犯対策と地域のつながりを増やすため、お互いに見守りの機会を増やす呼びかけをしたらよいと思う。
- ◎子どもの小学校が遠く、西東京市の学区外のため、犯罪者情報などが、入ってこない。子どもの通学時間などに注意を払うためにも、そういった情報は、西東京市民全体へ投げかけてほしい。我が家には、認知症の老人もいるので、もし外を歩き回るようになったら、自宅へ帰って来られなくなる心配もあるので、どこの家に、どの状況の老人がいるのかなど、市で把握してもらった方が、問い合わせ先などあるだけでも救われる。

## ●生活環境について

- 最近、集中豪雨が多発しており、各地で被害が発生しています。西東京市では、今のところ、ニュースになるような災害に見舞われていませんが、いつ大きな被害におそわれてもおかしくない状況であります。当家の周囲でも、下水道の汚水マンホールから水が吹き上がっている事態がありました。
- 主な公道 1 k m程度に一か所を目安に公衆トイレをつくる。高齢者の出歩きを助長できる。社協が設置すれば、社協の活動が地域で目に見えた形で認識される。
- タクシーに田無駅で乗るまで並んだので、夕方、タクシーの数をもっと増えてほしいです。バスも多いと思いますが、バス停から自宅まで子どもを連れていると移動することが大変です。
- はなバスが 1 時間に 1 本しか通らない。他の所は、もっと通っているのに、花小金井、いなげやも歩くと遠いし、マックスバリューも歩くと遠い。まわりにお店がないので買物が不便、もう少しバスの回数を増やしてほしい。
- 循環バス料金 100 円にしていれば、もう少し利用する人が増えるのでは。助かる人が沢山いると思いますが、出かける人も増えるでしょうし。
- コミュニティーバスの路線を増やす。
- 町全体に流れる放送が良く聞きとれない。スピーカーが近くにないためか、高層ビルのためかわかりませんが、重大ニュースの時などには困ってしまいます。
- 公園でほとんどがボール遊び禁止になっています。小学生の男の子はボールを使いたくて遊びたくていのに、思いきりボールを蹴ったりすることができなく可哀そうです。遊びたい盛りの男の子達ですから、ぜひボール遊びが思いきりできるよう、公園使えるようにしてほしいです。
- この町の周辺には、広い公園等が無い。
- 子どもが安心して遊べる公園や空き地のような所があるといい。また、学童保育を小学校 6 年生までにしてほしい。

## ●道路環境について

- とにかく道路環境を誰も（子どもから高齢者、障がい者）が安心して通れるようになってほしい。

- 路が狭く、歩行者が安心して通れる歩道を駅近く中心に変えてほしい。(ひばりヶ丘北口～1km周辺) 子どもが安心して通れる道路にしてほしい。(自転車でも)
- 西東京市の道路は狭い。安全標識を多くして子ども・老人を守ること。市内に無料自転車置き場を要所ごとにつくる。
- 農地改造都市のため、段差が激しい。平地に出るのに車椅子使用・ステッキ使用は無理があります。
- 保谷駅南口周辺に歩道をつくってほしいです。
- 西東京市の田無町に暮らしていますが、道路が狭く(歩道が無いところも多い)、ヒヤヒヤしながら通っています。もう少し安心して通行できると良いのですが、子どもにも、一人で通行、自転車に乗せるのは心配です。緑地が少ないように感じます。

## ●マナーについて

- どの道路・歩道にも常にポリ袋やペットボトル、そのほかの目立つゴミ類がポイ捨てされています。住み良い環境にするためにはこれらがクリーンな状態になってほしいと思います。捨てる人のモラルも低くなっているのはありますが、クリーンにする社会のモラルも同様に低くなっている現状を示しているのだと思います。
- 犬の散歩をさせている人が道路の植木や草の上で糞尿をさせている。また近くの公園のサツキを植えているところで糞尿をさせ、犬が掻き土が掘れサツキが枯れている。生い茂った草は誰も抜かない、草ボウボウ。植木屋さんが手入れをしていました。これは税金を投じていると思います。犬の散歩に際し、草・木・公園内・道路上で糞尿をさせることを規制すべきです。道路の標識に尿をさせて水を形ばかり掛けていますが、結局さびて倒れたという報道もあります。家庭内の糞として外(公共の場)では糞尿をさせないマナーづくりをお願いしたい。
- 最近ニュースで、高齢者の方々がゴミを出すのも大変と聞きました。結果、ゴミ屋敷まではいかないとも、地域の治安にもつながるのかなと、ゴミ出しを手伝う活動はいかがですか。
- ゴミの収集の充実。ゴミの分別の明確化。粗大ごみの収集により美しいまちづくり。
- 西東京市は歩道などに、犬の糞が多く放置されていると、前々から感じています。ペット不可の住居での飼育も目立ちます。未だ保護される捨てられた犬・猫のことを考えてみても、現代の人の意識の低さには、本当に悲しく思えばかりです。もう少し責任を持って、ペットのお世話をして頂きたいです。

## ●社会福祉協議会について

### ①社会福祉協議会の性格、存在根拠等について

- 率直に言って「社会福祉協議会」の内容位置づけが私自身あまり分からない。地域包括センターや介護施設等々の棲み分け(仕事)が分からない。市役所の外部団体か市役所の中にあるのかも分からない。寄付を募る主旨も分からない。
- 社会福祉協議会は民間団体ですか、それとも行政機関の一部ですか、その辺がどうもよく分かりません。包括支援センターは、行政機関の重要な一部で活動もよく分かりますが…。活動スタイル、活動範囲を明確に分かりやすくしてほしい。特に最近手を広げすぎているように思えるので。
- 市の窓口で行なっている仕組みと、社会福祉協議会で行なっている仕組みとが違う仕組みなのに、メンバーはだぶっているとか、市民からみたら、同じような組織や仕組みがいくつもあるようにみえてしまう。一本化して、わかりやすくできないものか。
- 社会福祉協議会とは何なのか、誰の資金で運営しているのか、等々がよくわからない。市の組織であって、市の予算で運営しているのなら、主権者は市民であり、市民の福祉に貢献するような運営をすればよい。やり方がわからないのなら、他自治体の方法を参照したり、エキスパートに相談する手がある。
- 社協が地域住民の福祉向上に何を具体的にしているのか理解していない。

## ②社会福祉協議会の広報・啓発について

- 市報で紹介されている地域の取り組みは良い活動が多いように感じています。社会福祉協議会でも、市民が楽しみながら参加できるイベント（例えば、フリーマーケットとグルメのお祭り、子ども参加型で福祉の仕事が分かるものなど）について、参加呼びかけするのはいかがでしょうか。
- 高齢者でも元気な方は社協をあまり知らないし、関係を持たない方が多い。認知度を上げる必要はあるが非常に難しいと思う。
- 元気な高齢者の方は社会福祉協議会（社協）の名前は聞いたことはあるが、主に何をしている所かしっかり知らない方が多いです。元気がゆえに困ったことが無いのではと思います。何かあれば市に相談すれば良いと考えているのかもしれませんが。
- 社会福祉協議会がどのような活動をしているかが日常あまり理解できていないし、分からない！時々パンフレット（活動情報）を目にする程度で、具体的にどのような方が、どのような活動をして、地域社会に於いてどのような役割を、になっているのか等あまり身近に感じられない。赤い羽根募金や、緊急災害時義損金の時の活躍等想像しているが、その他の具体的活動の状況や結果、どのような人々が実際に活動しているのか（例えば会員が組織化されグループ班等として正規の型があるのか等々不明）あまり良く分からない。
- 年間事業報告や収支報告など書面で見ただけでは解りにくい。自治会や老人会の会が開かれる折説明してほしい。例えば実例をあげてこんな場合、こんな申し出が多くありました。この場合はこの様に対処してよければ良かったとか、具体例でお話が聞きたいです。また、こんなお手伝いもしていただけたらありがたいですなどと。地域包括支援センターとのかわりや私的介護事業者との仕事の違いなどについても教えてほしい。

## ③社会福祉協議会への期待について

- 今後の介護の担い手不足の問題の解決。家族の負担がさらにますので社協がより積極的に関わっていくとよいと思う。
- 少子高齢化（全国的な人口減少）と格差の拡大が進行している中でも、西東京市の実態（近郊住宅地で人工増加傾向）を良く把握して、社会福祉協議会が事業の対象とすべき階層（グループ）や協力してもらおう人々・団体（人材）を焦点化、構造化していくと良いと思います。（当然のことですが）。
- 立場、年齢、収入、に関係なく公を思う心で自己研鑽に努めている人が大勢いると思います。セクショナリズムにとらわれず、そのような人を発掘し、働き場所があってほしいと思います。条件あつての提案型目線（仕方ないかもしれませんが）ではなく、共感目線で組織づくりを願えればと思います。
- 西東京市社会福祉協議会でたくさんの事業をして下さって感謝しています。私も含め市民一人一人が助け合う気持ちを持って暮らすことが、一番大事なのではないかなと思いました。
- “共生”ということが言われていますが、共（とも）生（いきる）しかけをつくってほしい。子ども、中高生、障がいのある方、シングルマザー、高齢者、サラリーマン、商店主、などなど、あらゆる人が自分の力を出し合い、共に生きる地域をつくる主体になっていくよう、社会福祉協議会が黒子（くろこ）になれるといいと思っています。
- 地域住民が世代に関係なく相互交流ができるために必要なことは何か。若い世代、現役世代が地域とつながれる状態はどういうものか。それを具体化するために社協の活動は重要なものだと思います。

## ●策定委員会における委員の意見

- 「会員になっている」が約 5 割となっており、特に 50 歳代以上が他の年代に比べて高くなっている。
- 会員加入を条件としている「移送サービス事業」や「あいあいサービス」の利用者数が減っていることにより、総合的に減となっている。
- 会員になっているが前回調査より減少している。会員数全体の減少を反映しているとともに、今回調査ではチャェキャブ運行事業、施設利用者を対象としていないことが要因と思われる。

## ●その他

- 土地の保有者の意見が最重要だと思いますが、高齢者が耕さなくなっている土地を、地域のために生かせないかと思う。高齢者や学童帰りの低学年の子を預けることができる合わせた施設や、入学前の子どもを気軽に預けられる施設など広い土地があって、質の高い物がつくれる可能性があるように思います。資金も必要なので、現実化は厳しいとは思いますが、厳しいからこそ知恵を出し合ってほしいと思います。
- まだ自分・家族が元気なので、福祉についての実感が無い。でも、西東京市では市民の福祉活動が広がっている感じはする。
- 道路等のハード面の整備は分かりやすく住み良い街になる。反面公共工事や再開発は嫌だ。このまま死ぬまで静かに暮らしたいと願う人もいるので「誰もが満足する街づくり」は無理なのだと思う。日本の行政サービスはやり過ぎで、甘えた人間を増やしてしまった。皆が住みやすい街とは、皆が少しずつ譲り合える社会、人間の成熟度の問題だと思う。
- 市民会館をもっと大きく、有名人、劇団でも呼べるようなものにしてほしい。トイレが和式で使いにくい。
- しっかり皆が、国のこと、都のこと、西東京のこと、そして地域のことに関心を持つことがとても大事だと思います。一番大事なことは「教育」、家庭、学校、地域、マスメディア、間違った教育をしてはならない。押しつけの教育、片寄せた教育を「反省」を常に念頭に置いて、教育してほしい。親も教師も全ての指導者達も、命の重さ、家族の有難さ、世界の中の自分をいつも考える人間に育てたいと思う。私はちょっとおせっかいのおばあちゃん、主人はちょっとうるさいおじいちゃん、若者に対しています。笑顔を忘れずに。
- 会社を退職したばかりの 60 代の方が、もっと積極的に社会福祉協議会の事業に参加する方が増えると、もっと、もっとすべての面で素晴らしい西東京市になると思います。
- これから高齢化社会に向けて、障がい者、高齢者、子ども、といった、社会的弱者に目を向けているばかりではなく、現役の学生や働き盛りの男性、女性、及び主婦など健常者が、進んで地域のことを第一に考える様な仕組みを策定してほしいです。それぞれの枠でセグメント分けして、施策を打つことは、より社会の中での各階層の孤立をまねいているような気がします。現在、地域社会でハンサムママプロジェクトもかなり活発な様ですが、起業というイノベーションの力をもっと福祉に取り入れて、魅力あるマーケットに方向転換していけば、市民の力がもっと集まっていくのではないのでしょうか？そのためにも、サードプレイスの様な場所は必要だと思います。
- 高齢者ばかりでなく若年者を含め一人でも多く、社会参加してほしい。そのための仕組みづくりを創造することが行政や社会福祉協議会の役割と考える。
- 「こもれび」などを活用、福祉チャリティとして落語や音楽会、後援会などを企画。市民のために協力いただけるプロはいると思います。会員が声をかけあい、低額の料金で、参加することで、地域で声をかけあう関係づくりがあっても、と思います。
- 「誰もが住みやすいまち」とは、どのようなまちか？何もしないでいろいろなサービスを受けられるまち＝住みやすいまち？財政の都合で行政から住民に「アレヤレ、コレヤレ」といわれることには抵抗を感じる。住民が自ら住みやすいまちのイメージを共有し、できることをする。行政の補完をするのではなく、住民の活動を行政が補完する関係が望ましいが、今は住民に「押しつけられている」感が否めない。
- 平均寿命、平均余命が伸び、高齢化社会が進んでいます。その中で心身共に健康な高齢者も少なからず存在し、それまで蓄積して来た知識・技能・経験等を地域社会に還元し貢献したいと考えている人達もいる

と思います。高齢者による高齢者のための活動は重要なことと思いますが、私自身は、次代を背負う少年達、あるいは身体障がい者のための活動を重視したいと思います。それには、学校や児童、生徒や身障者施設や身障者自身のニーズがあるのか否か、どこに、どの様なニーズがあるのかを探る必要があります。

- 西東京市は地味だけど、住みやすいいい町だと思います。私は、文化関係に長年携わっていますが、こもれびホールでは市民中心の文化活動の発表がひんぱんに行われていてみなさん、楽しんでいらっやいます。子どものイベントも盛んで、子育てフェスタ、西東京子ども文化フェスティバルなど、市民中心に運営され、皆さん頑張っています。この方向や市政をより発展させるよう、行政も大いにバックアップしてください。
- 市民の絆を深める（交流する機会）ための施策を企画する。職員が市民の一員として社会活動に参加する。
- 住みやすいまちづくりなんて考えたことがありませんでした。西東京市の住人という自覚さえなかったかもしれません。今住みにくさはあまり感じていませんが、保谷駅前（南口）の道幅が狭くて怖いです。でも拡げるのはむずかしいですね。
- みんなの居場所、ほっとステーションのことはありがたいのですが、近くにないので行くのに困る所が多くて、近くにできればと思います。すばらしい取り組みだと思います。空き家も多いと聞きますが、空き家を利用させていただくことはできないのでしょうか。
- ささえあいネットワーク会員の実働化。これだけの宝の山をこのままにしておくのは本人達にとっても地域にとっても損失だと思う。
- CSW の方にはとてもお世話になっています。（カフェバロックなどで）皆さまのノウハウをお伝えただけで本当に助かっています。ありがとうございます。
- 公的機関、医療、企業等が連携して、社会のニーズを把握、応えることが住みやすいまちづくりへの実現のために、重要なことだと思います。
- まち全体で助け合っていくのは理想ですが、いろんな考えを持っている人々の集りですから、中々理想通りにはいかないと思います。しかし、時間をかけて助け合い活動を少数の人々からでも少しずつ、がんばっていけば拡げていくことができるのではと思います。助け合いが常識（あたりまえ）になる様にしていく。時間はかかりますが、まずは核になるグループ、長く続くグループがいくつか必要だと思います。
- 隣近所の特定の人とのかかわりだけでなく、もっと幅広い地域や人とのかかわりが持てたらすばらしいと思います。
- 少子高齢化社会の問題点をヒアリングにより吸い上げ、具体策を立案実施すること。

## IV. クロス集計一覧

【問 1】 あなたの性別を教えてください。（あてはまるもの1つに○をつけてください）

		n	男性	女性	無回答
全体		810	34.0	65.6	0.5
年代別	～19歳	6	50.0	50.0	－
	20～29歳	4	25.0	75.0	－
	30～39歳	54	3.7	96.3	－
	40～49歳	76	14.5	85.5	－
	50～59歳	67	28.4	71.6	－
	60～69歳	142	35.9	63.4	0.7
	70～74歳	123	41.5	58.5	－
	75歳～	332	41.0	58.4	0.6
地区別	北東部	222	44.6	55.0	0.5
	中部	179	28.5	69.8	1.7
	南部	163	31.3	68.7	－
	西部	241	29.5	70.5	－
居住年数別	2年以内	9	－	100.0	－
	3～5年	40	12.5	87.5	－
	6～10年	53	17.0	83.0	－
	11～20年	110	30.9	68.2	0.9
	21～30年	81	30.9	69.1	－
	31年以上	516	39.1	60.3	0.6
家族構成別	あなたのみ	128	18.0	82.0	－
	あなたと配偶者	254	50.8	48.8	0.4
	あなたと子ども	72	20.8	79.2	－
	あなたと親	8	75.0	25.0	－
	あなたと配偶者と子ども	256	26.2	73.0	0.8
	あなたと配偶者と親	15	46.7	53.3	－
	あなたと配偶者と子どもと親	30	46.7	53.3	－
	その他の方との同居	43	30.2	67.4	2.3

【問 2】 あなたの年齢を教えてください。（あてはまるもの1つに○をつけてください）

		n	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳	75歳～	無回答
全体		810	0.7	0.5	6.7	9.4	8.3	17.5	15.2	41.0	0.7
性別	男性	275	1.1	0.4	0.7	4.0	6.9	18.5	18.5	49.5	0.4
	女性	531	0.6	0.6	9.8	12.2	9.0	16.9	13.6	36.5	0.8
地区別	北東部	222	2.3	–	5.9	10.4	9.9	16.7	15.3	39.2	0.5
	中部	179	–	0.6	6.1	10.6	7.8	20.7	16.2	36.3	1.7
	南部	163	–	0.6	7.4	7.4	12.3	19.0	12.3	40.5	0.6
	西部	241	0.4	0.8	7.5	8.7	4.6	14.9	16.2	46.5	0.4
居住年数別	2年以内	9	–	–	77.8	–	–	11.1	–	11.1	–
	3～5年	40	2.5	2.5	42.5	20.0	7.5	10.0	10.0	5.0	–
	6～10年	53	–	1.9	34.0	26.4	9.4	13.2	5.7	9.4	–
	11～20年	110	3.6	–	1.8	36.4	13.6	16.4	7.3	20.9	–
	21～30年	81	1.2	2.5	3.7	2.5	22.2	30.9	19.8	16.0	1.2
	31年以上	516	–	–	1.4	2.3	5.0	16.9	17.8	55.6	1.0
家族構成別	あなたのみ	128	1.6	–	–	2.3	2.3	8.6	16.4	67.2	1.6
	あなたと配偶者	254	–	–	–	–	5.5	22.0	20.9	51.6	–
	あなたと子ども	72	–	–	2.8	1.4	5.6	12.5	18.1	58.3	1.4
	あなたと親	8	12.5	–	25.0	25.0	–	25.0	12.5	–	–
	あなたと配偶者と子ども	256	0.4	0.8	18.8	24.6	12.5	16.8	10.2	15.6	0.4
	あなたと配偶者と親	15	–	–	6.7	–	33.3	40.0	6.7	6.7	6.7
	あなたと配偶者と子どもと親	30	–	–	–	20.0	23.3	33.3	3.3	20.0	–
	その他の方との同居	43	4.7	4.7	2.3	2.3	2.3	11.6	16.3	53.5	2.3

【問 3】 あなたを含めた家族数を教えてください。（あてはまるもの 1 つに○をつけてください）

		n	1人	2人	3人	4人以上	無回答
全体		810	16.5	38.3	21.4	23.6	0.2
性別	男性	275	8.7	52.0	17.8	21.5	-
	女性	531	20.7	31.1	23.0	24.9	0.4
年代別	～19 歳	6	16.7	-	-	83.3	-
	20～29 歳	4	-	-	50.0	50.0	-
	30～39 歳	54	1.9	-	46.3	51.9	-
	40～49 歳	76	3.9	1.3	27.6	65.8	1.3
	50～59 歳	67	4.5	25.4	28.4	41.8	-
	60～69 歳	142	8.5	46.5	23.9	21.1	-
	70～74 歳	123	18.7	50.4	17.9	13.0	-
	75 歳～	332	26.8	49.1	14.2	9.6	0.3
地区別	北東部	222	15.8	36.9	22.1	25.2	-
	中部	179	17.9	36.3	22.3	23.5	-
	南部	163	12.9	42.3	20.9	23.3	0.6
	西部	241	19.1	38.2	20.7	21.6	0.4
居住年数別	2年以内	9	11.1	-	44.4	44.4	-
	3～5年	40	10.0	12.5	37.5	37.5	2.5
	6～10 年	53	13.2	18.9	32.1	35.8	-
	11～20 年	110	10.9	25.5	18.2	45.5	-
	21～30 年	81	6.2	38.3	30.9	24.7	-
	31 年以上	516	20.3	45.5	17.8	16.1	0.2
家族構成別	あなたのみ	128	97.7	-	0.8	1.6	-
	あなたと配偶者	254	1.2	98.0	-	0.4	0.4
	あなたと子ども	72	2.8	61.1	26.4	9.7	-
	あなたと親	8	-	50.0	37.5	12.5	-
	あなたと配偶者と子ども	256	0.4	0.8	50.4	48.0	0.4
	あなたと配偶者と親	15	6.7	6.7	60.0	26.7	-
	あなたと配偶者と子どもと親	30	-	-	6.7	93.3	-
	その他の方との同居	43	2.3	20.9	20.9	55.8	-

【問 4】 あなたの家族構成を教えてください。（あてはまるもの 1 つに○をつけてください）

		n	あなたのみ	あなたと配偶者	あなたと子ども	あなたと親	あなたと配偶者と子ども	あなたと配偶者と親(もしくは配偶者の親)	あなたと配偶者と子どもと親(もしくは配偶者の親)	その他の方との同居	無回答
全体		810	15.8	31.4	8.9	1.0	31.6	1.9	3.7	5.3	0.5
性別	男性	275	8.4	46.9	5.5	2.2	24.4	2.5	5.1	4.7	0.4
	女性	531	19.8	23.4	10.7	0.4	35.2	1.5	3.0	5.5	0.6
年代別	～19 歳	6	33.3	–	–	16.7	16.7	–	–	33.3	–
	20～29 歳	4	–	–	–	–	50.0	–	–	50.0	–
	30～39 歳	54	–	–	3.7	3.7	88.9	1.9	–	1.9	–
	40～49 歳	76	3.9	–	1.3	2.6	82.9	–	7.9	1.3	–
	50～59 歳	67	4.5	20.9	6.0	–	47.8	7.5	10.4	1.5	1.5
	60～69 歳	142	7.7	39.4	6.3	1.4	30.3	4.2	7.0	3.5	–
	70～74 歳	123	17.1	43.1	10.6	0.8	21.1	0.8	0.8	5.7	–
	75 歳～	332	25.9	39.5	12.7	–	12.0	0.3	1.8	6.9	0.9
地区別	北東部	222	15.8	36.9	22.1	25.2	–	15.8	36.9	22.1	25.2
	中部	179	17.9	36.3	22.3	23.5	–	17.9	36.3	22.3	23.5
	南部	163	12.9	42.3	20.9	23.3	0.6	12.9	42.3	20.9	23.3
	西部	241	19.1	38.2	20.7	21.6	0.4	19.1	38.2	20.7	21.6
居住年数別	2年以内	9	11.1	–	11.1	–	77.8	–	–	–	–
	3～5年	40	10.0	12.5	–	–	70.0	2.5	–	2.5	2.5
	6～10 年	53	11.3	9.4	5.7	1.9	66.0	1.9	–	3.8	–
	11～20 年	110	11.8	22.7	2.7	0.9	50.9	0.9	5.5	4.5	–
	21～30 年	81	4.9	30.9	8.6	1.2	46.9	1.2	2.5	2.5	1.2
	31 年以上	516	19.4	37.4	11.2	1.0	17.8	2.1	4.3	6.4	0.4

【問 5】 ご家族の中で、次のどれかにあてはまる方（あなた自身も含めて）がいらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

		n	乳幼児 (未就学児) がいる	小学生 がいる	中学生 がいる	高校・大 学生が いる	65歳以 上の方 がいる	病氣療 養中の方 がいる(3ヶ 月以上)	介護を 必要と する方 がいる	障がい 児・者 がいる	いない	無回答
全体		810	10.9	10.6	4.1	6.4	45.9	5.7	9.6	6.3	19.4	8.4
性別	男性	275	2.2	3.3	3.6	7.6	57.5	5.5	11.3	7.6	17.5	8.4
	女性	531	15.4	14.5	4.3	5.8	40.3	5.6	8.9	5.6	20.0	8.5
年代別	～19歳	6	16.7	50.0	16.7	16.7	33.3	-	16.7	33.3	16.7	-
	20～29歳	4	75.0	25.0	-	-	25.0	-	25.0	-	-	-
	30～39歳	54	92.6	24.1	1.9	-	5.6	3.7	5.6	5.6	-	-
	40～49歳	76	32.9	67.1	22.4	13.2	10.5	1.3	3.9	5.3	3.9	-
	50～59歳	67	1.5	6.0	7.5	25.4	14.9	1.5	6.0	13.4	38.8	4.5
	60～69歳	142	3.5	2.1	-	4.2	65.5	1.4	8.5	6.3	18.3	7.0
	70～74歳	123	1.6	4.1	2.4	1.6	65.9	8.9	4.9	4.1	17.9	8.9
	75歳～	332	0.3	1.8	1.8	4.8	51.8	8.1	13.9	5.7	23.5	13.0
地区別	北東部	222	15.3	30.2	9.5	0.9	33.8	1.4	4.5	4.1	0.5	15.3
	中部	179	15.6	29.1	10.6	0.6	31.3	3.9	1.7	6.1	1.1	15.6
	南部	163	12.3	34.4	10.4	0.6	28.8	0.6	6.7	6.1	-	12.3
	西部	241	19.1	31.5	6.2	1.7	31.5	1.7	2.5	5.4	0.4	19.1
居住年数別	2年以内	9	77.8	-	-	-	-	11.1	11.1	-	22.2	-
	3～5年	40	60.0	12.5	2.5	2.5	20.0	2.5	2.5	-	15.0	-
	6～10年	53	47.2	32.1	5.7	3.8	15.1	1.9	3.8	3.8	9.4	7.5
	11～20年	110	12.7	36.4	10.9	14.5	31.8	3.6	5.5	7.3	16.4	3.6
	21～30年	81	6.2	2.5	1.2	9.9	44.4	3.7	6.2	16.0	30.9	1.2
	31年以上	516	2.5	4.3	3.1	4.8	55.2	7.0	12.2	5.4	19.6	11.2
家族構成別	あなたのみ	128	1.6	0.8	-	0.8	25.8	0.8	3.9	3.1	36.7	29.7
	あなたと配偶者	254	-	0.4	0.4	-	68.9	6.3	10.6	5.1	16.1	7.9
	あなたと子ども	72	2.8	1.4	2.8	6.9	34.7	4.2	6.9	6.9	38.9	5.6
	あなたと親	8	-	12.5	-	12.5	50.0	12.5	12.5	62.5	-	-
	あなたと配偶者と子ども	256	30.1	26.2	8.2	11.3	28.9	5.5	6.3	6.3	12.9	1.6
	あなたと配偶者と親	15	13.3	-	6.7	6.7	66.7	6.7	40.0	13.3	-	-
	あなたと配偶者と子どもと親	30	3.3	16.7	10.0	30.0	73.3	10.0	36.7	6.7	3.3	-
	その他の方との同居	43	9.3	23.3	11.6	11.6	65.1	16.3	16.3	9.3	14.0	2.3

【問 6】 あなたご自身は、西東京市に住むようになってから何年になりますか。（あてはまるもの 1 つに○をつけてください）

		n	2年以内	3～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31年以上	無回答
全体		810	1.1	4.9	6.5	13.6	10.0	63.7	0.1
性別	男性	275	–	1.8	3.3	12.4	9.1	73.5	–
	女性	531	1.7	6.6	8.3	14.1	10.5	58.6	0.2
年代別	～19歳	6	–	16.7	–	66.7	16.7	–	–
	20～29歳	4	–	25.0	25.0	–	50.0	–	–
	30～39歳	54	13.0	31.5	33.3	3.7	5.6	13.0	–
	40～49歳	76	–	10.5	18.4	52.6	2.6	15.8	–
	50～59歳	67	–	4.5	7.5	22.4	26.9	38.8	–
	60～69歳	142	0.7	2.8	4.9	12.7	17.6	61.3	–
	70～74歳	123	–	3.3	2.4	6.5	13.0	74.8	–
	75歳～	332	0.3	0.6	1.5	6.9	3.9	86.4	0.3
地区別	北東部	222	1.4	6.8	7.7	13.1	10.4	60.4	0.5
	中部	179	–	6.7	7.3	15.1	10.1	60.9	–
	南部	163	1.8	2.5	6.7	12.9	12.3	63.8	–
	西部	241	1.2	3.7	5.0	12.9	8.3	68.9	–
居住年数別	2年以内	9	11.1	11.1	–	–	–	33.3	11.1
	3～5年	40	30.0	10.0	–	–	–	32.5	–
	6～10年	53	35.8	1.9	1.9	5.7	–	22.6	–
	11～20年	110	21.8	3.6	3.6	2.7	1.8	23.6	1.8
	21～30年	81	21.0	1.2	4.9	6.2	–	19.8	–
	31年以上	516	5.2	1.0	1.0	7.9	1.0	24.6	0.2
家族構成別	あなたのみ	128	0.8	3.1	4.7	10.2	3.1	78.1	–
	あなたと配偶者	254	–	2.0	2.0	9.8	9.8	76.0	0.4
	あなたと子ども	72	1.4	–	4.2	4.2	9.7	80.6	–
	あなたと親	8	–	–	12.5	12.5	12.5	62.5	–
	あなたと配偶者と子ども	256	2.7	10.9	13.7	21.9	14.8	35.9	–
	あなたと配偶者と親	15	–	6.7	6.7	6.7	6.7	73.3	–
	あなたと配偶者と子どもと親	30	–	–	–	20.0	6.7	73.3	–
	その他の方との同居	43	–	2.3	4.7	11.6	4.7	76.7	–

【問 7】あなたは、現在どの地区にお住まいですか。（あてはまるもの 1 つに○をつけてください）

		n	北東部	中部	南部	西部	無回答
全体		810	27.4	22.1	20.1	29.8	0.6
性別	男性	275	36.0	18.5	18.5	25.8	1.1
	女性	531	23.0	23.5	21.1	32.0	0.4
年代別	～19 歳	6	83.3	—	—	16.7	—
	20～29 歳	4	—	25.0	25.0	50.0	—
	30～39 歳	54	24.1	20.4	22.2	33.3	—
	40～49 歳	76	30.3	25.0	15.8	27.6	1.3
	50～59 歳	67	32.8	20.9	29.9	16.4	—
	60～69 歳	142	26.1	26.1	21.8	25.4	0.7
	70～74 歳	123	27.6	23.6	16.3	31.7	0.8
	75 歳～	332	26.2	19.6	19.9	33.7	0.6
居住年数別	2年以内	9	33.3	—	33.3	33.3	—
	3～5年	40	37.5	30.0	10.0	22.5	—
	6～10年	53	32.1	24.5	20.8	22.6	—
	11～20年	110	26.4	24.5	19.1	28.2	1.8
	21～30年	81	28.4	22.2	24.7	24.7	—
	31年以上	516	26.0	21.1	20.2	32.2	0.6
家族構成別	あなたのみ	128	26.6	21.9	15.6	35.9	—
	あなたと配偶者	254	26.4	20.5	22.0	29.9	1.2
	あなたと子ども	72	29.2	26.4	23.6	20.8	—
	あなたと親	8	25.0	12.5	12.5	50.0	—
	あなたと配偶者と子ども	256	29.3	21.9	18.4	29.7	0.8
	あなたと配偶者と親	15	20.0	46.7	6.7	26.7	—
	あなたと配偶者と子どもと親	30	33.3	10.0	36.7	20.0	—
	その他の方との同居	43	20.9	25.6	23.3	30.2	—

【問 8】あなたの主たる職業は、次のどれですか。（あてはまるもの1つに○をつけてください）

		n	会社員	公務員	団体職員	自営業・家族従業	自由業	専業主婦(夫)	学生	無職	その他	無回答
全体		810	12.3	2.0	1.7	6.4	0.9	24.3	0.5	38.1	7.9	5.8
性別	男性	275	13.5	0.7	1.5	12.0	1.8	0.4	0.7	58.9	5.5	5.1
	女性	531	11.9	2.4	1.9	3.6	0.4	36.5	0.4	27.5	9.2	6.2
年代別	～19歳	6	-	-	-	-	-	-	33.3	50.0	16.7	-
	20～29歳	4	75.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	30～39歳	54	48.1	7.4	-	1.9	-	33.3	1.9	7.4	-	-
	40～49歳	76	43.4	7.9	2.6	2.6	1.3	25.0	-	3.9	9.2	3.9
	50～59歳	67	22.4	6.0	11.9	13.4	1.5	20.9	-	1.5	16.4	6.0
	60～69歳	142	9.2	-	2.1	13.4	1.4	29.6	-	32.4	9.9	2.1
	70～74歳	123	4.9	-	-	8.1	0.8	26.0	-	46.3	6.5	7.3
	75歳～	332	1.2	-	0.3	3.0	0.6	21.7	0.3	58.1	6.6	8.1
地区別	北東部	222	12.2	3.2	2.3	6.3	0.9	21.2	0.5	39.2	7.2	7.2
	中部	179	13.4	2.2	2.2	7.3	1.1	26.3	-	36.3	8.4	2.8
	南部	163	11.7	1.2	0.6	8.6	1.2	27.6	0.6	33.1	9.2	6.1
	西部	241	12.4	1.2	1.7	4.6	0.4	24.1	0.8	41.9	6.2	6.6
居住年数別	2年以内	9	11.1	11.1	-	-	-	33.3	11.1	22.2	11.1	-
	3～5年	40	30.0	10.0	-	-	-	32.5	-	12.5	12.5	2.5
	6～10年	53	35.8	1.9	1.9	5.7	-	22.6	-	18.9	9.4	3.8
	11～20年	110	21.8	3.6	3.6	2.7	1.8	23.6	1.8	24.5	10.9	5.5
	21～30年	81	21.0	1.2	4.9	6.2	-	19.8	-	32.1	4.9	9.9
	31年以上	516	5.2	1.0	1.0	7.9	1.0	24.6	0.2	46.1	7.2	5.8
家族構成別	あなたのみ	128	3.1	-	-	1.6	0.8	18.8	-	60.2	6.3	9.4
	あなたと配偶者	254	3.1	-	1.2	7.1	1.2	29.9	0.4	46.5	6.3	4.3
	あなたと子ども	72	2.8	-	-	4.2	1.4	19.4	1.4	47.2	13.9	9.7
	あなたと親	8	12.5	-	-	12.5	-	-	12.5	62.5	-	-
	あなたと配偶者と子ども	256	27.3	5.5	2.7	6.3	0.4	25.4	-	19.5	7.4	5.5
	あなたと配偶者と親	15	13.3	-	13.3	13.3	-	26.7	-	26.7	6.7	-
	あなたと配偶者と子どもと親	30	16.7	-	6.7	23.3	3.3	20.0	-	20.0	6.7	3.3
	その他の方との同居	43	18.6	2.3	-	7.0	-	18.6	2.3	30.2	18.6	2.3

【問9】 問8で1, 2, 3に回答した方について、その雇用の形態について教えてください。（あてはまるもの1つに○をつけてください）

		n	正規社員・職員	アルバイト・パート	派遣	その他	無回答
全体		130	59.2	28.5	4.6	6.2	1.5
性別	男性	43	76.7	14.0	-	9.3	-
	女性	86	51.2	36.0	7.0	4.7	1.2
年代別	～19歳	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	4	75.0	25.0	-	-	-
	30～39歳	30	60.0	23.3	13.3	3.3	-
	40～49歳	41	65.9	29.3	2.4	-	2.4
	50～59歳	27	55.6	29.6	3.7	11.1	-
	60～69歳	16	43.8	31.3	-	25.0	-
	70～74歳	6	66.7	33.3	-	-	-
	75歳～	5	60.0	40.0	-	-	-
地区別	北東部	39	66.7	20.5	2.6	10.3	-
	中部	32	65.6	25.0	3.1	3.1	3.1
	南部	22	63.6	18.2	9.1	9.1	-
	西部	37	43.2	45.9	5.4	2.7	2.7
居住年数別	2年以内	2	100.0	-	-	-	-
	3～5年	16	68.8	18.8	12.5	-	-
	6～10年	21	61.9	33.3	4.8	-	-
	11～20年	32	59.4	28.1	3.1	6.3	3.1
	21～30年	22	45.5	36.4	-	18.2	-
	31年以上	37	59.5	27.0	5.4	5.4	2.7
家族構成別	あなたのみ	4	75.0	25.0	-	-	-
	あなたと配偶者	11	45.5	27.3	9.1	18.2	-
	あなたと子ども	2	50.0	50.0	-	-	-
	あなたと親	1	-	-	-	100.0	-
	あなたと配偶者と子ども	91	60.4	29.7	4.4	4.4	1.1
	あなたと配偶者と親	4	100.0	-	-	-	-
	あなたと配偶者と子どもと親	7	71.4	14.3	-	14.3	-
	その他の方との同居	9	44.4	33.3	11.1	-	11.1

【問 10】 あなたは普段、ご近所の方とどの程度のお付き合いをされていますか。（あてはまるもの 1 つに○をつけてください）

		n	困った時に 相談や助け を求めるこ とができる	打ち明け話 ができる	立ち話で世 間話をする	あいさつを する程度	顔は知って いるが、あ いさつはし ない	顔もわから ない	無回答
全体		810	17.3	10.5	38.4	28.5	0.0	0.2	5.1
性別	男性	275	15.3	5.8	38.2	35.6	-	-	5.1
	女性	531	18.1	12.8	38.6	25.0	-	0.4	5.1
年代別	～19 歳	6	-	50.0	16.7	33.3	-	-	-
	20～29 歳	4	-	-	50.0	50.0	-	-	-
	30～39 歳	54	11.1	22.2	22.2	44.4	-	-	-
	40～49 歳	76	22.4	15.8	26.3	31.6	-	1.3	2.6
	50～59 歳	67	14.9	9.0	38.8	34.3	-	-	3.0
	60～69 歳	142	21.1	7.7	37.3	31.7	-	-	2.1
	70～74 歳	123	13.8	12.2	46.3	21.1	-	-	6.5
	75 歳～	332	17.2	7.5	42.2	25.3	-	0.3	7.5
地区別	北東部	222	14.0	8.1	41.9	30.6	-	-	5.4
	中部	179	20.7	13.4	31.8	30.7	-	0.6	2.8
	南部	163	14.7	16.0	38.7	25.8	-	-	4.9
	西部	241	18.7	7.1	39.8	27.4	-	0.4	6.6
居住年数別	2年以内	9	11.1	11.1	11.1	66.7	-	-	-
	3～5年	40	10.0	22.5	22.5	45.0	-	-	-
	6～10 年	53	17.0	15.1	26.4	39.6	-	-	1.9
	11～20 年	110	19.1	9.1	29.1	37.3	-	0.9	4.5
	21～30 年	81	11.1	11.1	40.7	27.2	-	-	9.9
	31 年以上	516	18.6	9.3	42.8	23.8	-	0.2	5.2
家族構成別	あなたのみ	128	24.2	7.8	37.5	23.4	-	-	7.0
	あなたと配偶者	254	16.1	8.3	42.5	28.0	-	-	5.1
	あなたと子ども	72	15.3	13.9	37.5	27.8	-	-	5.6
	あなたと親	8	-	-	25.0	62.5	-	-	12.5
	あなたと配偶者と子ども	256	16.4	13.3	33.6	32.0	-	0.8	3.9
	あなたと配偶者と親	15	20.0	6.7	53.3	13.3	-	-	6.7
	あなたと配偶者と子どもと親	30	23.3	3.3	40.0	30.0	-	-	3.3
	その他の方との同居	43	11.6	16.3	44.2	25.6	-	-	2.3

【問 11】あなたが考える「地域」の範囲とは、次のどれですか。（あてはまるもの 1 つに○をつけてください）

		n	隣・近所	町内会・自治会	小学校区	中学校区	町	市全体	その他	無回答
全体		810	34.4	23.5	11.7	2.7	9.8	11.0	1.5	5.4
性別	男性	275	36.7	30.2	5.8	3.3	8.0	10.5	1.1	4.4
	女性	531	33.1	20.2	14.7	2.4	10.7	11.3	1.5	6.0
年代別	～19 歳	6	16.7	—	16.7	—	33.3	33.3	—	—
	20～29 歳	4	—	25.0	25.0	—	50.0	—	—	—
	30～39 歳	54	24.1	16.7	27.8	1.9	11.1	16.7	1.9	—
	40～49 歳	76	15.8	17.1	35.5	5.3	11.8	11.8	1.3	1.3
	50～59 歳	67	16.4	25.4	14.9	6.0	14.9	17.9	1.5	3.0
	60～69 歳	142	32.4	25.4	12.0	6.3	12.0	7.0	1.4	3.5
	70～74 歳	123	32.5	30.1	8.1	0.8	8.9	10.6	2.4	6.5
	75 歳～	332	46.1	23.2	4.2	0.9	6.6	9.6	1.2	8.1
地区別	北東部	222	31.5	22.1	11.7	4.1	10.8	12.2	1.8	5.9
	中部	179	34.6	21.2	13.4	2.2	11.2	12.3	2.8	2.2
	南部	163	33.7	22.1	13.5	3.1	8.6	10.4	1.8	6.7
	西部	241	37.8	27.0	9.5	1.7	8.7	8.7	—	6.6
居住年数別	2年以内	9	44.4	22.2	11.1	—	11.1	—	—	11.1
	3～5年	40	27.5	12.5	12.5	5.0	15.0	27.5	—	—
	6～10年	53	11.3	22.6	26.4	—	13.2	20.8	3.8	1.9
	11～20年	110	20.0	20.9	23.6	6.4	13.6	8.2	0.9	6.4
	21～30年	81	35.8	13.6	13.6	3.7	9.9	9.9	3.7	9.9
	31年以上	516	39.9	26.6	7.4	1.9	8.1	9.7	1.2	5.2
家族構成別	あなたのみ	128	41.4	25.8	4.7	—	5.5	11.7	0.8	10.2
	あなたと配偶者	254	40.6	26.4	7.5	2.4	7.9	9.4	1.6	4.3
	あなたと子ども	72	40.3	23.6	9.7	1.4	9.7	8.3	—	6.9
	あなたと親	8	12.5	25.0	—	—	12.5	50.0	—	—
	あなたと配偶者と子ども	256	23.0	20.3	22.3	4.7	12.5	11.3	2.0	3.9
	あなたと配偶者と親	15	13.3	13.3	13.3	6.7	20.0	26.7	6.7	—
	あなたと配偶者と子どもと親	30	40.0	23.3	10.0	6.7	10.0	3.3	—	6.7
	その他の方との同居	43	44.2	23.3	2.3	—	14.0	11.6	—	4.7

【問 12】 あなたがお住まいの地域についておたずねします。あなたがお住まいの地域では、どのような問題があると感じていますか。（それぞれの項目で、あてはまるものすべてに○をつけてください）

ア. 高齢者に関すること

		n	介護	虐待	地域での孤立・見守り	防犯	外出手段	医療・健康	生計・生活困窮	就労	福祉サービスの不足	相談する場	話し相手	福祉サービスに関する情報	周囲の理解	地域との交流・社会参加	災害時の不安	近隣とのトラブル	道路・交通環境	安	個人が抱える将来の不	その他	無回答
全体		810	33.8	2.3	24.4	23.3	14.6	20.2	6.9	2.8	9.0	11.1	15.7	17.9	5.2	22.7	44.1	4.8	17.9	14.6	3.7	13.7	
性別	男性	275	35.3	3.6	20.7	28.4	11.3	26.2	6.5	2.2	9.8	10.9	10.5	21.8	3.6	25.1	38.5	3.6	17.5	12.4	4.0	13.1	
	女性	531	33.3	1.7	26.4	20.9	15.8	16.9	7.0	3.2	8.7	11.3	18.3	15.8	5.8	21.5	46.7	5.5	18.3	15.6	3.4	14.1	
年代別	～19歳	6	66.7	16.7	50.0	33.3	16.7	16.7	-	-	16.7	-	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	-	16.7	16.7	-	16.7	
	20～29歳	4	75.0	-	50.0	25.0	50.0	25.0	-	-	50.0	-	-	25.0	50.0	25.0	50.0	-	25.0	25.0	25.0	-	
	30～39歳	54	33.3	1.9	29.6	11.1	14.8	16.7	16.7	11.1	13.0	5.6	18.5	7.4	5.6	16.7	38.9	9.3	35.2	16.7	1.9	24.1	
	40～49歳	76	38.2	1.3	34.2	18.4	14.5	11.8	11.8	3.9	10.5	10.5	17.1	10.5	2.6	17.1	26.3	6.6	22.4	10.5	2.6	14.5	
	50～59歳	67	44.8	3.0	35.8	31.3	23.9	22.4	13.4	4.5	11.9	14.9	26.9	19.4	3.0	29.9	47.8	9.0	32.8	17.9	1.5	7.5	
	60～69歳	142	31.7	3.5	33.1	21.8	15.5	16.9	7.7	2.1	9.9	9.9	16.2	17.6	7.7	31.0	54.2	7.0	16.2	15.5	2.8	9.2	
	70～74歳	123	29.3	3.3	26.8	23.6	15.4	18.7	4.1	2.4	5.7	13.8	15.4	24.4	5.7	30.9	43.1	3.3	16.3	10.6	3.3	11.4	
	75歳～	332	31.9	1.5	14.2	25.3	11.4	24.1	3.9	1.5	7.5	11.1	12.7	18.7	4.2	17.5	44.6	2.7	12.7	15.1	5.1	15.7	
地区別	北東部	222	33.8	1.4	27.5	29.3	15.8	23.9	7.2	2.7	9.9	13.1	14.4	18.0	4.5	21.6	40.1	5.0	18.9	14.4	5.0	15.3	
	中部	179	38.0	3.4	26.8	20.1	18.4	19.0	8.4	2.8	8.9	10.6	19.0	19.0	5.6	26.8	50.8	4.5	24.0	14.5	3.4	8.4	
	南部	163	33.7	2.5	24.5	23.3	12.9	16.6	9.2	5.5	12.9	12.3	16.0	19.6	8.0	25.8	41.1	8.0	17.8	14.1	2.5	14.7	
	西部	241	31.5	2.5	19.9	20.3	12.0	20.7	4.1	1.2	5.8	9.1	14.5	15.8	3.7	18.7	44.8	2.9	12.9	14.9	3.3	15.4	
居住年数別	2年以内	9	22.2	-	22.2	11.1	-	-	-	-	11.1	-	-	-	-	-	33.3	11.1	33.3	-	11.1	22.2	
	3～5年	40	40.0	5.0	40.0	17.5	22.5	22.5	15.0	2.5	15.0	10.0	20.0	15.0	10.0	35.0	42.5	10.0	30.0	17.5	5.0	12.5	
	6～10年	53	34.0	-	30.2	17.0	18.9	17.0	5.7	7.5	13.2	11.3	13.2	13.2	9.4	26.4	37.7	13.2	32.1	11.3	3.8	13.2	
	11～20年	110	38.2	1.8	28.2	20.0	13.6	11.8	10.0	2.7	10.0	11.8	19.1	12.7	4.5	28.2	45.5	3.6	18.2	11.8	1.8	14.5	
	21～30年	81	38.3	3.7	33.3	25.9	23.5	21.0	12.3	7.4	7.4	11.1	23.5	18.5	8.6	28.4	45.7	3.7	24.7	18.5	7.4	7.4	
	31年以上	516	32.0	2.3	20.5	25.0	12.4	22.5	5.0	1.7	8.1	11.2	14.0	20.0	4.1	19.8	44.4	3.9	14.1	14.9	3.3	14.5	
家族構成別	あなたのみ	128	29.7	3.9	22.7	24.2	14.1	24.2	1.6	-	8.6	10.9	21.1	17.2	6.3	27.3	45.3	2.3	11.7	17.2	5.5	14.8	
	あなたと配偶者	254	36.6	1.2	21.3	25.2	13.8	19.7	5.1	1.6	7.9	11.8	13.4	22.0	3.9	22.4	43.7	5.1	18.1	14.2	4.3	13.0	
	あなたと子ども	72	30.6	1.4	23.6	22.2	9.7	22.2	9.7	2.8	9.7	16.7	15.3	15.3	4.2	15.3	47.2	6.9	19.4	18.1	4.2	18.1	
	あなたと親	8	37.5	-	37.5	25.0	25.0	37.5	37.5	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	-	25.0	37.5	12.5	12.5	25.0	12.5	25.0	
	あなたと配偶者と子ども	256	35.2	2.7	29.7	20.7	17.2	19.1	9.8	4.7	9.0	9.8	14.1	14.8	5.5	23.4	43.0	5.5	23.4	12.1	2.0	15.6	
	あなたと配偶者と親	15	26.7	6.7	33.3	26.7	13.3	13.3	-	6.7	26.7	13.3	6.7	13.3	6.7	46.7	46.7	6.7	13.3	13.3	-	-	
	あなたと配偶者と子どもと親	30	36.7	3.3	23.3	36.7	13.3	13.3	6.7	-	13.3	13.3	20.0	26.7	3.3	26.7	43.3	6.7	3.3	10.0	-	3.3	
	その他の方との同居	43	30.2	2.3	16.3	18.6	11.6	18.6	7.0	7.0	7.0	4.7	20.9	16.3	11.6	9.3	44.2	-	14.0	20.9	7.0	4.7	

イ. 障がい児・者に関すること

		n	介護	虐待	地域での孤立・見守り	防犯	外出手段	医療・健康	生計・生活困窮	就労	福祉サービスの不足	相談する場	話し相手	福祉サービスに関する情報	周囲の理解	地域との交流・社会参加	災害時の不安	近隣とのトラブル	道路・交通環境	安	個人が抱える将来の不	その他	無回答
全体		810	10.9	3.7	17.4	5.3	11.0	7.4	6.5	11.5	8.1	9.8	6.5	10.4	16.5	15.1	23.1	3.2	7.5	14.0	3.3	42.3	
別性	男性	275	12.7	3.3	14.9	5.8	8.7	8.4	6.9	8.7	9.5	7.3	5.1	8.7	13.8	13.5	23.6	1.5	7.3	11.3	2.9	44.4	
	女性	531	10.0	4.0	18.6	5.1	12.1	7.0	6.4	13.0	7.5	10.9	7.3	11.3	17.9	16.0	22.8	4.1	7.7	15.3	3.6	41.2	
年代別	～19歳	6	16.7	16.7	50.0	16.7	16.7	16.7	-	16.7	16.7	-	-	33.3	16.7	16.7	33.3	-	16.7	-	-	16.7	
	20～29歳	4	-	-	-	25.0	-	-	-	25.0	-	25.0	-	25.0	50.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-	
	30～39歳	54	14.8	5.6	20.4	11.1	20.4	11.1	18.5	24.1	13.0	14.8	13.0	11.1	18.5	24.1	25.9	5.6	13.0	18.5	5.6	25.9	
	40～49歳	76	10.5	2.6	22.4	2.6	9.2	2.6	6.6	15.8	15.8	10.5	7.9	11.8	26.3	19.7	17.1	7.9	14.5	15.8	3.9	25.0	
	50～59歳	67	16.4	9.0	31.3	7.5	19.4	7.5	13.4	23.9	19.4	19.4	4.5	14.9	32.8	26.9	22.4	7.5	11.9	22.4	4.5	17.9	
	60～69歳	142	9.9	4.9	21.1	6.3	10.6	7.7	7.0	10.6	7.7	12.0	8.5	10.6	21.8	21.1	33.1	1.4	5.6	21.1	3.5	30.3	
	70～74歳	123	9.8	5.7	17.9	2.4	13.8	8.9	6.5	12.2	7.3	12.2	8.9	12.2	15.4	14.6	27.6	4.1	7.3	16.3	3.3	38.2	
	75歳～	332	9.9	1.2	11.1	4.8	7.2	7.2	3.3	6.0	3.9	5.1	4.2	7.8	8.7	8.1	18.4	1.5	4.8	7.5	2.7	61.1	
地区別	北東部	222	12.2	5.0	19.4	5.4	10.4	9.0	7.7	13.1	12.2	13.1	7.7	10.8	22.1	14.4	25.2	2.7	7.2	15.3	4.1	36.0	
	中部	179	14.5	5.0	22.9	6.7	12.8	6.7	7.8	12.8	7.8	11.2	7.8	10.1	15.6	15.1	26.3	3.9	11.2	16.8	3.9	35.8	
	南部	163	10.4	1.8	14.1	4.9	13.5	7.4	6.7	14.7	10.4	8.6	4.9	12.3	17.8	19.6	21.5	3.7	3.1	16.6	1.8	46.6	
	西部	241	7.5	2.9	14.1	4.6	8.7	6.6	4.6	7.1	3.3	6.2	5.8	9.1	11.6	12.9	19.9	2.9	8.3	9.1	3.3	49.8	
居住年数別	2年以内	9	-	-	11.1	-	11.1	11.1	-	22.2	-	11.1	11.1	-	11.1	-	22.2	-	-	-	22.2	33.3	
	3～5年	40	15.0	10.0	20.0	12.5	25.0	7.5	15.0	20.0	10.0	12.5	20.0	20.0	32.5	32.5	22.5	7.5	25.0	27.5	-	20.0	
	6～10年	53	18.9	3.8	22.6	7.5	11.3	9.4	9.4	24.5	17.0	15.1	7.5	11.3	18.9	22.6	26.4	7.5	13.2	20.8	11.3	26.4	
	11～20年	110	9.1	2.7	20.9	4.5	10.0	3.6	6.4	12.7	10.9	15.5	6.4	14.5	30.0	20.9	26.4	4.5	8.2	16.4	0.9	32.7	
	21～30年	81	9.9	7.4	27.2	6.2	17.3	8.6	8.6	18.5	9.9	13.6	4.9	12.3	18.5	22.2	22.2	2.5	4.9	18.5	4.9	27.2	
	31年以上	516	10.5	2.9	14.5	4.7	9.1	7.8	5.4	7.9	6.4	7.2	5.6	8.3	12.0	10.9	22.1	2.3	6.0	11.2	2.7	50.4	
家族構成別	あなたのみ	128	8.6	1.6	14.8	6.3	7.0	8.6	1.6	5.5	3.9	5.5	5.5	9.4	11.7	11.7	15.6	4.7	4.7	9.4	3.9	57.8	
	あなたと配偶者	254	12.2	3.9	17.3	4.7	9.8	7.5	6.7	8.3	6.3	9.8	5.9	7.9	16.9	13.8	24.4	2.0	6.3	13.0	2.8	46.9	
	あなたと子ども	72	5.6	2.8	18.1	4.2	9.7	6.9	4.2	11.1	5.6	11.1	9.7	5.6	11.1	13.9	23.6	2.8	8.3	13.9	2.8	48.6	
	あなたと親	8	-	-	50.0	25.0	-	25.0	12.5	25.0	25.0	25.0	-	12.5	-	37.5	50.0	-	-	12.5	-	37.5	
	あなたと配偶者と子ども	256	12.9	4.3	19.9	6.3	14.5	7.0	10.2	18.8	12.1	11.7	8.2	13.3	19.9	18.8	24.6	3.9	11.7	18.8	4.3	29.7	
	あなたと配偶者と親	15	6.7	6.7	6.7	6.7	13.3	-	-	-	6.7	13.3	-	20.0	26.7	26.7	33.3	-	6.7	-	6.7	20.0	
	あなたと配偶者と子どもと親	30	13.3	3.3	16.7	-	6.7	3.3	6.7	3.3	13.3	-	3.3	6.7	13.3	10.0	16.7	3.3	-	3.3	-	46.7	
	その他の方との同居	43	9.3	7.0	9.3	2.3	14.0	7.0	4.7	11.6	7.0	9.3	2.3	18.6	20.9	7.0	25.6	2.3	4.7	16.3	2.3	39.5	

ウ. 子どもに関すること

		n	介護(養育)	虐待	地域での孤立・見守り	防犯	外出手段	医療・健康	生計・生活困窮	就労	福祉サービスの不足	相談する場	話し相手	福祉サービスに関する情報	周囲の理解	地域との交流・社会参加	災害時の不安	近隣とのトラブル	道路・交通環境	安	個人が抱える将来の不	その他	無回答
全体		810	5.6	7.4	14.2	16.8	2.0	6.3	6.7	2.6	4.1	8.5	4.3	5.3	6.7	12.6	14.9	2.6	11.1	5.6	4.8	44.3	
性別	男性	275	5.5	5.1	13.8	13.1	0.4	8.0	5.8	1.1	4.0	6.5	1.5	6.2	8.7	10.2	11.3	1.5	6.9	4.0	3.3	49.8	
	女性	531	5.6	8.7	14.3	18.8	2.8	5.5	7.2	3.4	4.1	9.6	5.8	4.9	5.6	13.7	16.8	3.2	13.4	6.4	5.5	41.2	
年代別	～19歳	6	16.7	-	50.0	-	-	16.7	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	20～29歳	4	-	-	50.0	75.0	25.0	-	25.0	-	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	75.0	50.0	-	25.0	25.0	-	-	-
	30～39歳	54	3.7	9.3	24.1	33.3	9.3	14.8	16.7	5.6	11.1	11.1	13.0	11.1	13.0	16.7	33.3	13.0	35.2	9.3	5.6	16.7	
	40～49歳	76	6.6	11.8	30.3	40.8	5.3	9.2	11.8	3.9	7.9	13.2	6.6	7.9	6.6	18.4	23.7	5.3	25.0	6.6	13.2	11.8	
	50～59歳	67	4.5	17.9	23.9	29.9	1.5	6.0	7.5	3.0	7.5	10.4	6.0	6.0	9.0	26.9	16.4	6.0	22.4	11.9	7.5	13.4	
	60～69歳	142	7.0	11.3	19.0	16.9	2.8	4.2	9.2	4.2	4.9	9.9	3.5	4.2	7.7	18.3	16.9	1.4	6.3	6.3	4.2	31.0	
	70～74歳	123	8.1	6.5	8.9	10.6	0.8	5.7	4.1	1.6	0.8	12.2	6.5	4.1	6.5	8.9	10.6	2.4	8.9	3.3	2.4	48.8	
	75歳～	332	3.9	3.0	6.0	8.1	-	5.4	3.6	1.5	1.8	4.5	1.5	4.2	4.8	6.3	10.5	0.3	4.8	3.9	3.6	66.3	
地区別	北東部	222	4.1	6.8	14.9	18.5	1.8	7.2	7.2	1.4	4.5	8.1	4.1	5.4	5.4	12.2	14.9	1.8	11.3	3.6	6.8	41.0	
	中部	179	8.4	10.6	17.3	19.6	2.8	5.6	7.8	3.4	5.6	11.2	5.0	3.4	7.8	16.2	17.3	2.8	14.5	8.9	5.0	36.9	
	南部	163	5.5	8.0	13.5	17.8	1.8	3.7	4.9	3.1	4.3	7.4	4.3	6.7	9.2	16.6	14.7	4.3	11.0	5.5	3.1	43.6	
	西部	241	5.0	5.4	12.0	12.9	1.7	7.9	6.6	2.9	2.5	7.9	4.1	5.8	5.4	7.9	13.3	2.1	8.7	5.0	3.7	53.1	
居住年数別	2年以内	9	-	-	11.1	11.1	11.1	-	11.1	-	-	-	11.1	-	11.1	-	33.3	11.1	33.3	-	11.1	33.3	
	3～5年	40	7.5	12.5	30.0	42.5	5.0	12.5	12.5	2.5	5.0	12.5	7.5	10.0	12.5	27.5	17.5	7.5	20.0	10.0	5.0	22.5	
	6～10年	53	5.7	11.3	17.0	24.5	7.5	5.7	7.5	5.7	11.3	11.3	9.4	15.1	7.5	15.1	13.2	7.5	26.4	11.3	11.3	20.8	
	11～20年	110	7.3	8.2	30.9	26.4	3.6	10.0	9.1	2.7	5.5	9.1	7.3	3.6	6.4	20.9	23.6	3.6	17.3	6.4	10.0	22.7	
	21～30年	81	8.6	14.8	19.8	17.3	-	6.2	8.6	2.5	6.2	13.6	6.2	6.2	7.4	16.0	12.3	3.7	14.8	6.2	4.9	28.4	
	31年以上	516	4.7	5.4	8.3	12.0	1.0	5.2	5.2	2.3	2.7	7.2	2.5	4.3	6.0	9.1	13.2	1.2	6.6	4.5	2.9	55.6	
家族構成別	あなたのみ	128	5.5	4.7	6.3	9.4	0.8	3.9	3.1	1.6	-	3.9	3.1	5.5	3.1	7.0	7.8	2.3	3.9	2.3	3.9	64.8	
	あなたと配偶者	254	7.1	7.1	10.2	12.6	-	5.9	5.5	2.0	3.1	7.1	2.8	3.1	7.9	10.6	13.4	1.2	7.5	6.3	3.1	53.5	
	あなたと子ども	72	1.4	5.6	8.3	4.2	1.4	2.8	4.2	4.2	5.6	12.5	5.6	8.3	6.9	12.5	9.7	2.8	9.7	8.3	2.8	52.8	
	あなたと親	8	12.5	12.5	25.0	12.5	-	25.0	-	-	12.5	25.0	-	-	-	12.5	25.0	12.5	12.5	-	-	62.5	
	あなたと配偶者と子ども	256	6.3	9.0	24.2	28.5	5.5	8.6	10.2	3.5	6.6	9.8	7.4	7.4	8.6	16.4	21.1	4.3	20.7	5.5	7.8	23.4	
	あなたと配偶者と親	15	-	6.7	20.0	13.3	-	-	-	-	-	20.0	6.7	6.7	13.3	20.0	6.7	-	6.7	6.7	-	26.7	
	あなたと配偶者と子どもと親	30	-	3.3	13.3	23.3	-	6.7	-	6.7	3.3	13.3	-	-	-	20.0	23.3	3.3	3.3	3.3	6.7	36.7	
	その他の方との同居	43	4.7	11.6	7.0	14.0	-	7.0	14.0	-	4.7	7.0	-	4.7	2.3	11.6	14.0	-	7.0	9.3	-	46.5	

エ. ア～ウ以外

		n	介護	虐待	地域での孤立・見守り	防犯	外出手段	医療・健康	生計・生活困窮	就労	福祉サービスの不足	相談する場	話し相手	福祉サービスに関する情報	周囲の理解	地域との交流・社会参加	災害時の不安	近隣とのトラブル	道路・交通環境	安	個人が抱える将来の不	その他	無回答
全体		810	0.7	0.6	1.7	1.0	0.5	1.0	0.6	0.7	0.6	1.7	1.0	1.9	0.9	2.1	2.7	0.6	2.3	1.2	2.8	87.2	
性別	男性	275	1.5	1.1	1.1	1.5	-	1.1	-	1.1	-	2.2	0.4	1.1	0.7	2.2	3.3	0.7	4.0	0.7	1.8	86.5	
	女性	531	0.2	0.4	2.1	0.8	0.8	0.8	0.9	0.6	0.9	1.5	1.3	2.3	0.9	1.9	2.3	0.6	1.5	1.5	3.4	87.8	
年代別	～19歳	6	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-	-	16.7	-	-	-	-	66.7	
	20～29歳	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
	30～39歳	54	-	-	1.9	1.9	3.7	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	3.7	1.9	3.7	1.9	3.7	1.9	3.7	92.6	
	40～49歳	76	1.3	2.6	1.3	1.3	-	1.3	1.3	2.6	1.3	1.3	1.3	2.6	1.3	1.3	1.3	-	2.6	1.3	2.6	86.8	
	50～59歳	67	-	-	1.5	1.5	1.5	3.0	1.5	3.0	1.5	3.0	3.0	1.5	-	4.5	3.0	1.5	3.0	3.0	3.0	88.1	
	60～69歳	142	0.7	1.4	2.8	0.7	-	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	1.4	0.7	2.8	2.1	0.7	1.4	2.1	0.7	89.4	
	70～74歳	123	1.6	-	0.8	1.6	-	-	-	-	0.8	3.3	0.8	1.6	-	0.8	3.3	-	2.4	1.6	5.7	83.7	
	75歳～	332	0.6	0.3	1.5	0.6	0.3	0.9	0.3	-	-	1.5	0.3	2.1	0.9	2.1	2.7	0.6	2.4	0.3	2.7	86.4	
地区別	北東部	222	0.9	1.4	3.2	1.4	0.9	1.8	1.4	2.3	1.8	2.3	1.8	1.8	0.9	3.2	2.3	0.9	3.2	2.3	4.1	83.3	
	中部	179	1.1	-	1.1	1.1	-	0.6	0.6	-	-	1.7	0.6	2.2	1.1	1.7	4.5	0.6	3.4	0.6	2.2	88.3	
	南部	163	0.6	0.6	1.8	0.6	0.6	-	0.6	-	0.6	1.2	1.2	1.2	0.6	1.8	1.2	-	1.2	1.8	2.5	90.8	
	西部	241	0.4	0.4	0.8	0.8	0.4	0.8	-	0.4	-	1.2	0.4	2.1	0.4	1.2	2.1	0.8	1.2	0.4	2.5	88.0	
居住年数別	2年以内	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.1	88.9
	3～5年	40	-	-	2.5	-	-	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	-	2.5	-	5.0	5.0	5.0	2.5	5.0	87.5	
	6～10年	53	1.9	1.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	5.7	5.7	3.8	1.9	1.9	3.8	3.8	5.7	83.0	
	11～20年	110	0.9	0.9	0.9	0.9	-	-	0.9	0.9	-	-	-	-	-	1.8	2.7	-	0.9	0.9	1.8	88.2	
	21～30年	81	1.2	1.2	3.7	1.2	-	1.2	1.2	-	1.2	2.5	3.7	2.5	-	3.7	6.2	-	1.2	1.2	2.5	86.4	
	31年以上	516	0.6	0.4	1.4	0.8	0.4	0.8	-	0.4	0.2	1.7	0.4	1.9	0.6	1.9	2.1	0.4	2.5	1.0	2.5	87.4	
家族構成別	あなたのみ	128	-	0.8	1.6	-	-	-	-	-	-	0.8	0.8	2.3	0.8	-	1.6	0.8	1.6	0.8	3.1	87.5	
	あなたと配偶者	254	0.4	-	1.6	1.2	0.4	0.4	-	-	0.4	2.4	0.8	1.2	0.4	3.1	2.8	0.4	2.4	1.2	3.1	87.0	
	あなたと子ども	72	1.4	-	1.4	-	-	1.4	-	-	-	-	-	2.8	-	1.4	4.2	-	1.4	1.4	2.8	87.5	
	あなたと親	8	12.5	12.5	-	-	-	-	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75.0
	あなたと配偶者と子ども	256	0.8	1.2	2.0	1.2	0.8	2.0	1.6	1.6	1.2	2.0	1.6	2.0	2.0	3.1	2.7	0.8	3.1	1.6	2.7	86.7	
	あなたと配偶者と親	15	-	-	6.7	-	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.7	-	-	-	-	-	86.7
	あなたと配偶者と子どもと親	30	-	-	-	3.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.3	-	3.3	-	3.3	93.3	
	その他の方との同居	43	2.3	-	-	2.3	-	-	-	-	-	2.3	-	4.7	-	-	2.3	-	2.3	-	-	-	88.4

【問 15】 あなたは、西東京市社会福祉協議会の会員になっていますか。（あてはまるもの 1 つに○をつけてください）

		n	会員になっている	会員になっていない	わからない	無回答
全体		810	47.4	29.0	13.7	9.9
性別	男性	275	49.5	23.6	14.5	12.4
	女性	531	46.1	31.8	13.4	8.7
年代別	～19 歳	6	16.7	50.0	33.3	—
	20～29 歳	4	25.0	50.0	25.0	—
	30～39 歳	54	13.0	61.1	24.1	1.9
	40～49 歳	76	23.7	51.3	21.1	3.9
	50～59 歳	67	50.7	37.3	9.0	3.0
	60～69 歳	142	49.3	32.4	15.5	2.8
	70～74 歳	123	50.4	27.6	9.8	12.2
	75 歳～	332	56.3	16.0	11.7	16.0
地区別	北東部	222	46.8	24.8	16.2	12.2
	中部	179	51.4	33.0	10.1	5.6
	南部	163	43.6	34.4	11.0	11.0
	西部	241	47.7	26.1	16.2	10.0
居住年数別	2年以内	9	22.2	44.4	22.2	11.1
	3～5年	40	22.5	57.5	15.0	5.0
	6～10 年	53	24.5	52.8	20.8	1.9
	11～20 年	110	30.0	40.9	20.0	9.1
	21～30 年	81	48.1	33.3	8.6	9.9
	31 年以上	516	55.6	20.9	12.2	11.2
家族構成別	あなたのみ	128	54.7	16.4	11.7	17.2
	あなたと配偶者	254	54.3	23.2	12.2	10.2
	あなたと子ども	72	47.2	26.4	12.5	13.9
	あなたと親	8	62.5	25.0	12.5	—
	あなたと配偶者と子ども	256	35.9	41.8	16.0	6.3
	あなたと配偶者と親	15	40.0	33.3	26.7	—
	あなたと配偶者と子どもと親	30	60.0	23.3	6.7	10.0
	その他の方との同居	43	44.2	32.6	18.6	4.7

【問 16】 問 15 で「1. 会員になっている」に○をつけた方は、お答えください。西東京市社会福祉協議会に会費や寄付金（物品）を納めていただいているのは、どのようなお気持ちからですか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

		n	地域の福祉の向上を期待するから	地域の福祉に参加したいから	住みやすい西東京市にしたいから	社会福祉協議会の取り組みに協力したいから	以前、社会福祉協議会の事業を利用したり、活動に関わったりしていたから	現在、社会福祉協議会の事業を利用したり、活動に関わったりしているから	町内会・自治会からの案内があったから	民生委員・児童委員からの案内があったから	知人に紹介されたから	団体・会社の方針	その他	無回答
全体		384	57.3	21.9	48.7	35.2	18.2	21.4	13.5	13.5	9.1	1.6	3.4	1.3
性別	男性	136	64.0	20.6	52.9	36.8	8.8	14.7	24.3	14.0	8.8	2.2	3.7	1.5
	女性	245	53.1	22.9	46.5	34.3	22.9	25.3	7.8	13.5	9.0	1.2	3.3	1.2
年代別	～19歳	1	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-
	20～29歳	1	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	30～39歳	7	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3	28.6	14.3	-	14.3	14.3	-	-
	40～49歳	18	50.0	27.8	55.6	33.3	27.8	11.1	11.1	-	11.1	-	-	5.6
	50～59歳	34	44.1	26.5	32.4	29.4	5.9	23.5	17.6	14.7	5.9	5.9	2.9	-
	60～69歳	70	52.9	20.0	48.6	31.4	11.4	17.1	12.9	12.9	8.6	-	8.6	-
	70～74歳	62	50.0	16.1	46.8	37.1	21.0	22.6	14.5	22.6	11.3	3.2	1.6	-
75歳～	187	65.2	23.0	52.4	37.4	20.3	23.0	13.4	12.8	8.6	0.5	2.7	2.1	
地区別	北東部	104	57.7	26.0	51.0	35.6	9.6	20.2	27.9	13.5	7.7	-	4.8	-
	中部	92	56.5	22.8	50.0	39.1	30.4	29.3	5.4	9.8	7.6	1.1	2.2	2.2
	南部	71	62.0	18.3	54.9	32.4	18.3	18.3	9.9	18.3	9.9	4.2	2.8	-
	西部	115	54.8	20.0	40.9	33.9	16.5	18.3	9.6	13.9	11.3	1.7	3.5	2.6
居住年数別	2年以内	2	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0
	3～5年	9	33.3	33.3	33.3	33.3	-	22.2	11.1	-	11.1	-	11.1	-
	6～10年	13	38.5	23.1	23.1	46.2	15.4	38.5	15.4	15.4	7.7	-	-	-
	11～20年	33	45.5	30.3	54.5	21.2	18.2	15.2	12.1	3.0	3.0	-	3.0	3.0
	21～30年	39	51.3	25.6	41.0	46.2	7.7	20.5	17.9	20.5	7.7	7.7	2.6	-
	31年以上	287	61.3	20.2	51.2	35.2	20.2	21.6	13.2	13.9	10.1	1.0	3.5	1.0
家族構成別	あなたのみ	70	54.3	31.4	47.1	41.4	24.3	25.7	8.6	12.9	11.4	-	4.3	2.9
	あなたと配偶者	138	62.3	21.0	53.6	35.5	17.4	23.2	18.1	12.3	10.9	2.2	2.2	0.7
	あなたと子ども	34	58.8	20.6	47.1	41.2	20.6	23.5	14.7	8.8	2.9	2.9	2.9	2.9
	あなたと親	5	60.0	40.0	60.0	60.0	-	20.0	20.0	-	40.0	20.0	20.0	-
	あなたと配偶者と子ども	92	52.2	17.4	42.4	30.4	17.4	21.7	12.0	15.2	6.5	1.1	5.4	1.1
	あなたと配偶者と親	6	-	50.0	50.0	-	-	33.3	16.7	-	16.7	-	-	-
	あなたと配偶者と子どもと親	18	55.6	22.2	50.0	33.3	16.7	-	5.6	22.2	11.1	-	-	-
	その他の方との同居	19	73.7	5.3	47.4	31.6	15.8	5.3	10.5	26.3	-	-	-	-

【問 17】 第三次西東京市地域福祉活動計画で定めた以下の活動について、あなたが地域で生活するうえで、必要な取り組みだと思いますか。（上位3つに○をつけてください）

		n	人の良いところを見つける活動をする	“地域スカウトキャラバン”をつくる	さまざまな交流のきっかけをつくる	必要な情報を集め・広める	一緒に活動できる機会をつくる	誰もが立ち寄れる雰囲気のある居場所をつくる	アナログな情報（回覧板・掲示板等）を再活用する	デジタルな伝達手段を活用する	無回答
全体		810	16.9	21.4	40.5	20.2	31.0	49.8	17.7	16.3	23.5
性別	男性	275	15.6	21.1	38.9	19.3	29.8	44.4	20.7	16.0	26.5
	女性	531	17.7	21.3	41.2	20.9	31.5	52.9	16.2	16.6	21.7
年代別	～19歳	6	16.7	33.3	16.7	33.3	33.3	16.7	33.3	16.7	33.3
	20～29歳	4	50.0	50.0	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-
	30～39歳	54	13.0	14.8	51.9	27.8	33.3	53.7	18.5	38.9	11.1
	40～49歳	76	15.8	22.4	40.8	31.6	38.2	60.5	17.1	34.2	9.2
	50～59歳	67	26.9	25.4	55.2	25.4	34.3	59.7	26.9	31.3	3.0
	60～69歳	142	15.5	28.2	49.3	25.4	35.2	52.1	16.9	16.2	14.8
	70～74歳	123	18.7	26.8	43.9	17.1	34.1	56.9	13.8	11.4	20.3
	75歳～	332	15.7	16.3	31.0	13.9	25.6	42.5	17.2	7.5	37.0
地区別	北東部	222	14.9	21.2	41.9	19.4	29.3	52.3	22.1	16.2	21.2
	中部	179	17.9	20.1	44.7	21.8	38.0	54.2	16.2	17.3	20.1
	南部	163	22.7	25.2	39.9	23.3	27.6	47.2	13.5	17.8	21.5
	西部	241	14.1	20.3	36.5	17.8	30.3	46.9	17.8	14.5	29.0
居住年数別	2年以内	9	11.1	33.3	55.6	22.2	33.3	55.6	11.1	22.2	11.1
	3～5年	40	12.5	15.0	40.0	20.0	42.5	52.5	15.0	25.0	22.5
	6～10年	53	17.0	30.2	45.3	24.5	28.3	39.6	24.5	43.4	11.3
	11～20年	110	19.1	22.7	48.2	21.8	35.5	60.0	16.4	28.2	11.8
	21～30年	81	19.8	21.0	48.1	17.3	34.6	60.5	28.4	17.3	12.3
	31年以上	516	16.5	20.5	36.8	20.0	28.9	46.5	15.7	10.1	29.3
家族構成別	あなたのみ	128	13.3	16.4	35.9	18.8	23.4	43.0	15.6	8.6	35.2
	あなたと配偶者	254	15.7	24.8	40.6	19.7	31.9	46.9	17.7	13.0	25.2
	あなたと子ども	72	18.1	18.1	41.7	15.3	38.9	52.8	15.3	11.1	25.0
	あなたと親	8	12.5	37.5	37.5	12.5	37.5	50.0	12.5	25.0	25.0
	あなたと配偶者と子ども	256	20.3	21.9	43.4	20.7	31.6	54.3	18.4	27.3	14.8
	あなたと配偶者と親	15	6.7	20.0	53.3	20.0	53.3	46.7	33.3	6.7	20.0
	あなたと配偶者と子どもと親	30	16.7	26.7	30.0	30.0	16.7	56.7	10.0	20.0	26.7
	その他の方との同居	43	18.6	14.0	39.5	27.9	32.6	53.5	25.6	2.3	23.3

【問 18】 西東京市社会福祉協議会が、より活発な地域福祉活動を推進するために、今後、どのようにしたら一人でも多くの方のご協力をいただけたらと思いますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

		n	西東京市社会福祉協議会や地域の福祉について理解してもらえるように広報力を強化し、認知度を高める	西東京市社会福祉協議会や地域の福祉について町内会・自治会等への説明を行う	福祉施設、関係団体等への協力依頼を行う	商店、企業等への協力依頼を行う	気軽に地域に関わることのできる機会を増やす	その他	無回答
全体		810	50.2	22.3	18.1	20.1	51.1	4.3	19.6
性別	男性	275	52.7	23.6	19.3	16.7	46.9	3.6	20.4
	女性	531	49.0	21.7	17.5	22.0	53.5	4.7	19.0
年代別	～19歳	6	33.3	50.0	50.0	33.3	50.0	-	33.3
	20～29歳	4	50.0	-	-	50.0	50.0	25.0	-
	30～39歳	54	24.1	14.8	16.7	33.3	61.1	5.6	9.3
	40～49歳	76	39.5	11.8	18.4	31.6	52.6	5.3	15.8
	50～59歳	67	56.7	22.4	28.4	40.3	53.7	4.5	1.5
	60～69歳	142	59.2	18.3	15.5	16.2	59.9	4.2	14.1
	70～74歳	123	57.7	30.9	17.9	15.4	61.8	3.3	15.4
	75歳～	332	50.0	24.4	17.2	14.5	41.6	4.2	28.9
地区別	北東部	222	48.2	18.9	15.3	19.4	49.1	5.4	20.3
	中部	179	55.9	26.3	24.0	20.7	53.1	5.6	15.6
	南部	163	53.4	21.5	21.5	25.2	52.1	4.9	18.4
	西部	241	46.5	23.2	13.7	17.4	51.9	2.1	22.0
居住年数別	2年以内	9	11.1	-	-	33.3	66.7	-	-
	3～5年	40	25.0	17.5	15.0	25.0	55.0	7.5	15.0
	6～10年	53	45.3	13.2	22.6	37.7	52.8	11.3	9.4
	11～20年	110	48.2	25.5	21.8	25.5	56.4	2.7	16.4
	21～30年	81	55.6	17.3	24.7	23.5	60.5	4.9	11.1
	31年以上	516	52.9	24.2	16.5	16.1	47.7	3.7	23.4
家族構成別	あなたのみ	128	44.5	23.4	14.1	13.3	45.3	7.0	29.7
	あなたと配偶者	254	58.3	28.0	20.9	16.5	51.2	3.9	18.5
	あなたと子ども	72	56.9	18.1	19.4	13.9	48.6	1.4	25.0
	あなたと親	8	37.5	25.0	25.0	25.0	50.0	12.5	37.5
	あなたと配偶者と子ども	256	45.3	19.1	17.6	28.1	55.1	4.7	14.5
	あなたと配偶者と親	15	26.7	13.3	6.7	6.7	66.7	13.3	6.7
	あなたと配偶者と子どもと親	30	53.3	6.7	16.7	20.0	40.0	-	16.7
	その他の方との同居	43	48.8	27.9	20.9	30.2	53.5	-	18.6